

平成22年度

業 務 報 告

(年 報)

兵庫県立工業技術センター

平成22年度業務報告 目次

| | | |
|------|-----------------|----|
| 1. | 沿 革 | 1 |
| 2. | 規 模 | 2 |
| 3. | 機構及び業務 | |
| 3.1 | 機 構 | 2 |
| 3.2 | 業 務 | 3 |
| 4. | 職 員 | |
| 4.1 | 職員現員表 | 5 |
| 4.2 | 職員一覧表 | 6 |
| 4.3 | 研修・その他 | 8 |
| 4.4 | 表彰・学位・資格・特許等 | 8 |
| 5. | 収 支 決 算 | |
| 5.1 | 歳 入 | 10 |
| 5.2 | 歳 出 | 10 |
| 6. | 平成22年度設置備品 | 11 |
| 7. | 運 営 業 務 | |
| 7.1 | 主催及び共催した講習会・講演会 | 12 |
| 7.2 | 講師・審査員等の派遣 | 20 |
| 7.3 | 産業技術連携推進会議等 | 24 |
| 8. | 研 究 業 務 | |
| 8.1 | 研究開発 | 26 |
| 8.2 | 共同研究等 | 35 |
| 8.3 | 研究発表・技術資料作成 | 45 |
| 8.4 | 新聞による報道 | 54 |
| 9. | 依 頼 業 務 | |
| 9.1 | 依頼試験及び依頼加工 | 56 |
| 9.2 | 設備利用 | 56 |
| 10. | 技術相談・指導業務 | |
| 10.1 | 技術相談・指導 | 57 |
| 10.2 | 実地指導 | 59 |
| 10.3 | 技術開発等専門家派遣事業 | 60 |
| 10.4 | 技術者養成 | 61 |
| 11. | 技術情報業務 | |
| 11.1 | ニュース等の発行 | 64 |
| 11.2 | 研究報告等の発行 | 65 |
| 11.3 | インターネットによる情報提供 | 65 |

1. 沿革

| | |
|----------|--|
| 大正 6年 5月 | 兵庫県工業試験場（神戸市下山手通4丁目）創立。三木分場（美囊郡三木町福井）創設。 |
| 大正 9年 4月 | 西脇分場（西脇市西脇885の41）創設 |
| 大正11年10月 | 新庁舎竣工（神戸市下山手通4丁目57番地） |
| 昭和 4年 4月 | 山崎分場（宍粟郡町村組合から木工講習所を移管）創設 |
| 昭和 7年 4月 | 出石窯業作業所創立 |
| 昭和 8年 4月 | 兵庫県神戸工業試験場と改称。三木、西脇、山崎各分場を三木金物試験場、西脇染織試験場、山崎木工試験場と改称し分離 |
| 昭和 9年 4月 | 山崎木工試験場は、林業試験場となり林務課へ移管 |
| 昭和 9年11月 | 包装試験所を神戸税関構内に分所として創設（昭和20年 3月戦災焼失） |
| 昭和10年 4月 | 染織講習部を西脇染織試験場から分離、技能者養成事業を西脇染織講習所（新設）に移管 |
| 昭和12年 1月 | 三木金物試験場小野作業所（加東郡小野町（現小野市））創設 |
| 昭和19年 4月 | 三木金物指導所但馬支所（城崎郡豊岡町（現豊岡市））創設 |
| 昭和22年12月 | 三木金属工業指導所を三木町大塚に移転 |
| 昭和23年 4月 | 神戸工業指導所立杭支所を創設 |
| 昭和23年 8月 | 兵庫県皮革工業指導所（姫路市御国野町）創設 |
| 昭和23年12月 | 兵庫県神戸工業指導所、各指導所を試験場とし、皮革研究所、杞柳品生産指導所と改称 |
| 昭和24年10月 | 皮革研究所を姫路市五軒邸に移転 |
| 昭和25年 4月 | 兵庫県立中央工業試験所（神戸市生田区下山手通4丁目）創設。神戸工業試験場を統合し、機械金属試験場（小野、但馬両分場）、繊維試験場、皮革研究所、杞柳品生産指導所、出石窯業試験場、立杭窯業試験場を所属 |
| 昭和28年 8月 | 小野分場を県立中央工業試験所小野工芸指導所として分立 |
| 昭和29年 5月 | 新庁舎本館（神戸市須磨区上手崎町（現行平町）3丁目）竣工 |
| 昭和29年11月 | 兵庫県立中央工業試験所から地方試験場を分離 |
| 昭和31年10月 | 兵庫県立中央工業試験所を兵庫県工業奨励館と改称 |
| 昭和33年 3月 | 皮革工業指導所を姫路市野里字東河原3番地に移転 |
| 昭和43年 3月 | 工業試験研究機関50年史発行 |
| 昭和43年 4月 | 兵庫県工業奨励館を兵庫県立工業試験場と改称。丹波窯業指導所、小野工芸指導所等の業務を統合。小野工芸指導所の機械金属部門を機械金属工業指導所に統合 |
| 昭和45年 4月 | 機械金属工業指導所を三木市平田字フケ240番の1に移転 |
| 昭和47年11月 | 繊維工業指導所を西脇市野村町字上ノ段1790番496に移転 |
| 昭和57年 6月 | 兵庫県立工業試験場開放研究棟、実験作業棟の竣工 |
| 平成 2年 4月 | 兵庫県立工業試験場、県立機械金属工業指導所、県立繊維工業指導所、県立皮革工業指導所を一体化し、兵庫県立工業技術センターと改称。兵庫県産業デザインセンターを併設 |
| 平成10年10月 | 播磨科学公園都市の兵庫県立先端科学技術支援センター研究開発支援棟内に放射光(SPring-8兵庫県ビームライン)利用研究室を開設 |
| 平成14年 4月 | 兵庫県立工業技術センターの機構を改組、各工業指導所を工業技術支援センターに改称 |
| 平成17年 4月 | 「兵庫ものづくり支援センター」と連携 |
| 平成19年10月 | 創立90周年記念事業を開催 |
| 平成23年 3月 | 現在に至る。 |

2. 規 模

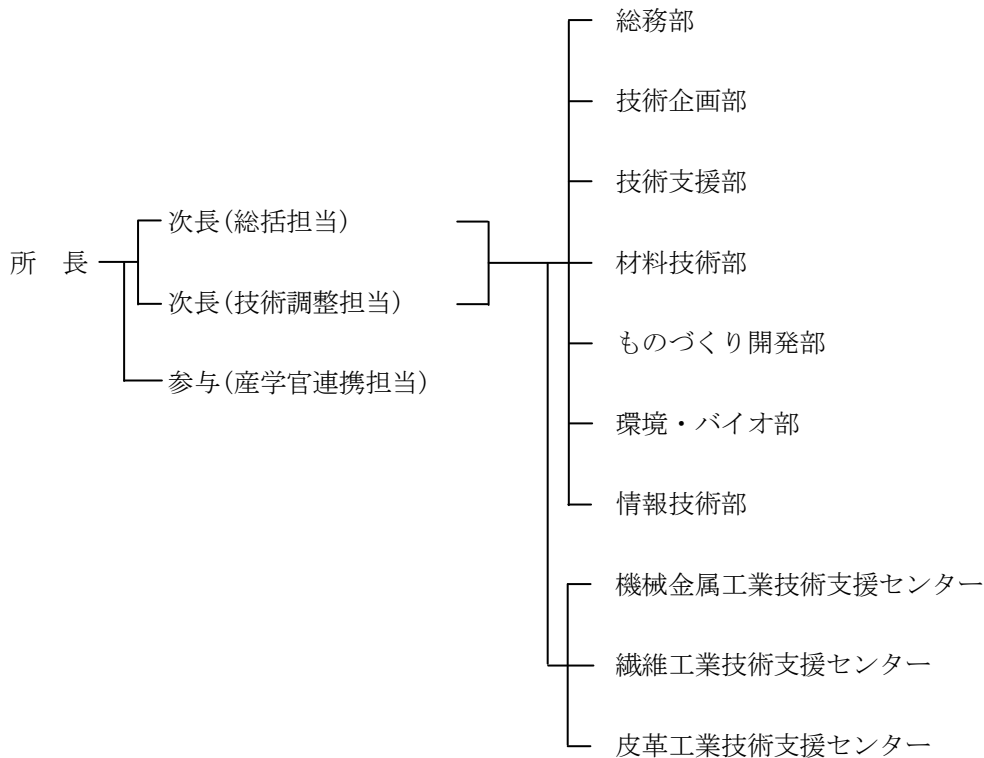
[所在地]

| | | |
|------------------|------------------|-----------------------------------|
| 兵庫県立工業技術センター（神戸） | 神戸市須磨区行平町3丁目1-12 | 電話(078)731-4033 (総合相談窓口ハローテクノ) |
| 同 機械金属工業技術支援センター | 三木市平田240-1 | 電話(0794)82-0026 |
| 同 繊維工業技術支援センター | 西脇市野村町1790-496 | 電話(0795)22-2041 |
| 同 皮革工業技術支援センター | 姫路市野里3 | 電話(079)282-2290 |

| | 敷地面積 (m ²) | 延べ建物面積 (m ²) |
|------------------|------------------------|--------------------------|
| 兵庫県立工業技術センター（神戸） | 12,956.80 | 20,040.72 |
| 同 機械金属工業技術支援センター | 5,244.00 | 2,121.01 |
| 同 繊維工業技術支援センター | 9,762.08 | 2,340.92 |
| 同 皮革工業技術支援センター | 3,011.73 (借地) | 2,007.25 |
| 計 | 30,974.61 | 26,509.90 |

3. 機構及び業務

3.1 機 構



3. 2 業 務

総務部の業務

- (1) 庶務
- (2) 業務計画の調整
- (3) 前2号に掲げるもののほか、他の組織の所掌に属しないこと。

技術企画部の業務

- (1) 試験研究業務の企画及び調整
- (2) 試験研究の評価、進行管理等の研究マネジメント
- (3) プロジェクト研究の推進
- (4) 産学官連携
- (5) 研究員の資質向上のための人材育成
- (6) 知的財産の活用
- (7) ものづくり支援センター等関係機関との調整・連携
- (8) 試験研究機器の設置・整備・管理等
- (9) 前各号に掲げるもののほか、試験研究の効率的な推進に関する調査及び調整

技術支援部の業務

- (1) 企業支援の計画策定と実施
- (2) 講習会、展示会及び広報の実施
- (3) 業界及び企業ニーズの調査
- (4) 兵庫県工業技術振興協議会及び関連機関等との連絡調整
- (5) 技術に係る情報の収集、管理及び情報提供
- (6) 中小企業支援に係る他機関との相互連携・協力
- (7) 技術に関する相談・助言、人材養成、技術普及及び技術移転の企画調整
- (8) 環境マネジメントシステム
- (9) 前各号に掲げるもののほか、技術支援の効率的な推進に関する調査及び調整

材料技術部の業務

- (1) 窯業材料、セラミックス材料及び金属材料の試験研究及び技術支援
- (2) 有機工業材料の試験研究及び技術支援
- (3) 工業材料の分析技術に係わる試験研究及び技術支援
- (4) 前各号に掲げるもののほか、材料技術及び材料分析

ものづくり開発部の業務

- (1) 機械加工、精密計測、自動制御の試験研究及び技術支援
- (2) 製品の安全性、機能性、デザイン開発に係る試験研究及び技術支援
- (3) コンピュータ応用生産技術の試験研究及び技術支援
- (4) 前3号に掲げるもののほか、製品開発及び先端技術

環境・バイオ部の業務

- (1) 環境保全技術の試験研究及び技術支援
- (2) バイオテクノロジーの試験研究及び技術支援
- (3) 前2号に掲げるもののほか、環境保全技術及びバイオテクノロジー

情報技術部の業務

- (1) オプトエレクトロニクス、電子応用技術の試験研究及び技術支援
- (2) 情報技術の試験研究及び技術支援
- (3) 前2号に掲げるもののほか、情報技術

機械金属工業技術支援センターの業務

- (1) 機械加工、金属材料の試験研究及び技術支援
- (2) 前号に掲げるもののほか、機械工業及び金属工業技術

繊維工業技術支援センターの業務

- (1) 繊維、織物の試験研究及び技術支援
- (2) 前号に掲げるもののほか、繊維工業技術

皮革工業技術支援センターの業務

- (1) 皮革、革製品の試験研究及び技術支援
- (2) 前号に掲げるもののほか、皮革工業技術

4. 職 員

4. 1 職員現員表

(平成23年3月31日現在)

| 区 分 | 事務職 | 技術職 | 技 能 労 務 職 | | 計 | 非常勤嘱託員 | 臨時的任用職員 | 合 計 |
|-------------|----------------|-----|-----------|---------------|----|--------------------|---------|-----|
| | | | 技 師 | 試 験 研 究 技 術 員 | | | | |
| 職 員 数 | 総務部 | 7 | | | 7 | 所長 庁舎管理事務 | 1 2 | 10 |
| | 技術企画部 | 1 | 5 | | 6 | 技術参与 | 1 | 7 |
| | 技術支援部 | 1 | 5 | | 6 | 技術開発指導員 技術支援嘱託員 | 54 2 | 62 |
| | 材料技術部 | | 10 | | 10 | 技術参与 | 3 | 14 |
| | ものづくり開発部 | | 11 | | 11 | 技術参与 参与 | 2 1 | 13 |
| | 環境・バイオ部 | | 6 | | 6 | 技術参与 特別研究員 | 1 1 | 8 |
| | 情報技術部 | | 6 | | 6 | 技術参与 | 1 | 7 |
| | 機械金属工業技術支援センター | 1 | 7 | | 8 | | | 8 |
| | 繊維工業技術支援センター | 1 | 7 | | 9 | | | 9 |
| | 皮革工業技術支援センター | 1 | 7 | | 8 | 技術参与 皮革技術指導嘱託員 | 1 1 | 10 |
| 合 計 | 12 | 64 | | 1 | 77 | 71 | | 148 |
| 前年度末職員数 | 11 | 64 | | 1 | 76 | 78 | 2 | 156 |

- (注) 1 所長(非常勤嘱託員)及び次長(総括担当)は総務部に、次長(技術調整担当)は技術企画部に含めた。
2 ものづくり開発部、情報技術部に、任期付き研究員各1人を含む。

4. 2 職員一覧表

(平成23年3月31日現在)

| 所属部課名 | 職 名 | 氏 名 | 所属部課名 | 職 名 | 氏 名 |
|-------|-----------------------|-----------|------------------|-----------|---------|
| | 所 長 | 北 村 新 三 | 材料技術部 | 研 究 主 幹 | 磯 野 禎 三 |
| | 次 長 | 深 田 修 司 | | 主 任 研 究 員 | 柴 原 正 文 |
| | 次 長 | 富 田 友 樹 | | 同 | 佐 伯 光 哉 |
| | 参 与 | 熱 田 稔 雄 | | 同 | 長 谷 朝 博 |
| 総 務 部 | 部 長 | (深田次長兼務) | | 同 | 山 下 満 |
| | 部 次 長 | 梶 原 敏 彦 | | 同 | 鷺 家 洋 彦 |
| | 兼 総 務 課 長 | | | 研 究 員 | 福 住 正 文 |
| | 課 長 補 佐 | 寺 西 康 年 | | 同 | 本 田 幸 司 |
| | 主 査 | 西 海 きくえ | ものづくり 開 発 部 | 部 長 | 福 地 雄 介 |
| | 同 | 大 山 知 洋 | | 研 究 主 幹 | 岸 本 正 |
| 主 任 | 岩 坂 雅 晴 | 同 | | 安 東 隆 志 | |
| 同 | 津 田 敏 明 | 主 任 研 究 員 | | 山 本 章 裕 | |
| 技術企画部 | 部 長 | (富田次長兼務) | | 同 | 阿 部 剛 |
| | 研 究 主 幹 | 山 田 和 俊 | | 同 | 浜 口 和 也 |
| | 同 | 兼 吉 高 宏 | | 同 | 平 田 一 郎 |
| | 技術活用課長 | 石 川 嘉 彦 | | 同 | 高 橋 輝 男 |
| | 主 任 研 究 員 兼工業振興課係長 | 杉 本 太 | | 研 究 員 | 平 山 明 宏 |
| | 主 任 研 究 員 | 泉 宏 和 | | 同 | 青 木 俊 憲 |
| 技術支援部 | 部 長 | 北 川 洋 一 | 環 境 ・ バ イ オ 部 | 部 長 | 吉 岡 秀 樹 |
| | 研 究 主 幹 | 石 原 マ リ | | 研 究 主 幹 | 井 上 守 正 |
| | ものづくり連携課長 | 大 槻 隆 雄 | | 主 任 研 究 員 | 平 瀬 龍 二 |
| | 主 任 研 究 員 | 野 崎 峰 男 | | 同 | 才 木 常 正 |
| | 同 | 金 谷 典 武 | | 同 | 吉 田 和 利 |
| | 同 | 後 藤 泰 徳 | | 研 究 員 | 大 橋 智 子 |
| 材料技術部 | 部 長 | 柏 井 茂 雄 | | 特 別 研 究 員 | 泉 恵 |
| | 研 究 主 幹 | 石 原 嗣 生 | | | |

| 所属部課名 | 職 名 | 氏 名 | 所属部課名 | 職 名 | 氏 名 |
|----------------|-----------|-----------|--------------|-------------|-----------|
| 情報技術部 | 部 長 | 三 浦 久 典 | 繊維工業技術支援センター | 所 長 | 有 年 雅 敏 |
| | 研 究 主 幹 | 松 本 哲 也 | | 副 所 長 | 古 谷 稔 |
| | 主 任 研 究 員 | 中 里 一 茂 | | 技 術 課 長 | 藤 田 浩 行 |
| | 同 | 瀧 澤 由 佳 子 | | 担 当 課 長 補 佐 | 橋 部 早 苗 |
| | 同 | 中 本 裕 之 | | 主 任 研 究 員 | 中 野 恵 之 |
| | 研 究 員 | 伍 賀 正 典 | | 同 | 原 田 知 左 子 |
| | | | | 同 | 東 山 幸 央 |
| 機械金属工業技術支援センター | 所 長 | 後 藤 浩 二 | | 研 究 員 | 瀨 川 芳 孝 |
| | 副 所 長 | 園 田 司 | | 技 術 員 | 近 藤 み は る |
| | 技 術 課 長 | 稲 葉 輝 彦 | | | |
| | 課 長 補 佐 | 本 田 美 佐 子 | 皮革工業技術支援センター | 所 長 | 中 川 和 治 |
| | 主 任 研 究 員 | 山 岸 憲 史 | | 副 所 長 | 森 勝 |
| | 研 究 員 | 山 口 篤 | | 技 術 課 長 | 原 田 修 |
| | 同 | 西 羅 正 芳 | | 課 長 補 佐 | 上 田 和 泉 |
| | 同 | 永 本 正 義 | | 主 任 研 究 員 | 佐 伯 靖 |
| | | | | 同 | 西 森 昭 人 |
| | | | | 同 | 松 本 誠 |
| | | 同 | 桑 田 実 | | |

4. 3 研修・その他

4. 3. 1 大学委託研究生派遣

| 課 題 | 派 遣 先 | 期 間 | 氏 名 |
|--------------------------|-------------------|------------|------|
| 視覚センサを利用した実環境の計測技術に関する研究 | 奈良先端科学技術 大学院大学 | 4月1日～3月31日 | 金谷典武 |

4. 4 表彰・学位・資格・特許等

4. 4. 1 受賞・表彰

| 月 日 | 件 名 | 内 容 | 受 賞 者 |
|--------|---------------------------------------|--|--------------|
| 5月22日 | 日本繊維機械学会賞（技術賞）受賞 | 同時多柄織物試作に対応した先染め織物用整経システムの開発 | 古谷 稔 藤田浩行 |
| 7月4日 | 日本デザイン学会春期大会グッドプレゼンテーション賞 | ヒューマンデザインテクノロジーを活用したGUI設計手法の検討 | 平田一郎 |
| 10月30日 | 第48回全国繊維技術交流プラザ優秀賞 | 極細番手クラッシュ加工織物（コーティング加工） | 古谷 稔 |
| 10月30日 | 第48回全国繊維技術交流プラザ奨励賞 | 薄ラバー貼り先染めジャカードストライプ | 古谷 稔 |
| 11月10日 | 第5回モノづくり連携大賞特別賞 | 小ロット多品種に対応した織物サンプル生産システムの開発、顔料染色技術、残糸活用技術、同時多柄整形システムの集合技術開発（共同受賞：神戸大学、片山商店、（公財）新産業創造研究機構、桑村繊維） | 古谷 稔 |
| 11月26日 | 兵庫県職業能力開発関係表彰 | 技能検定委員（プラスチック成形） | 鷲家洋彦 |
| 12月24日 | 産業労働部賞（知事表彰） | コンピュータ制御を用いた低コスト・短納期・高品質の織物生産システムの開発 | 藤田浩行 古谷 稔 |
| | 兵庫県産業労働部長表彰 | 鉛フリーはんだの寿命評価法の開発 | 野崎峰男 |
| | | 有機半導体デバイスの開発 | 平瀬龍二 |
| | | 地場産業活性化支援の推進 | 稲葉輝彦 |
| 2月24日 | 第8回新機械振興賞機械振興協会会長賞 | 多柄たて糸準備システム | 古谷 稔 藤田浩行 |
| 3月1日 | 兵庫自治学会研究発表大会分科会優秀発表者表彰 | 竹繊維の有効利用による持続型社会の構築を目指した材料開発 | 長谷朝博 |
| 3月1日 | 兵庫自治学会研究発表大会特別賞受賞 | 金物づくり地場産業の活性化への歩みーひょうご福祉新産業研究会の活動ー | 稲葉輝彦 |
| 3月17日 | 第3回ひょうごものづくり技術大賞兵庫工業会会長賞（製造・生産プロセス分野） | 不可能とされた「複数デザインの1ライン生産」を可能とする整経システムの自動化 | 藤田浩行 古谷 稔 |
| 3月28日 | 兵庫県産業労働部長表彰 | 兵庫県工業技術振興協議会における事業推進 | 石原マリ |
| | | 複合材料の開発 | 鷲家洋彦 |
| | | 播州織業界の技術者の育成研修 | 近藤みはる |

4. 4. 2 学位・資格取得

| 月 日 | 学位・資格 | 交 付 機 関 | 内 容 | 取 得 者 |
|-------|--------|---------|--------------------------|-------|
| 3月25日 | 博士(工学) | 立命館大学 | 高強度鋼の超寿命回転曲げ疲労挙動と破壊機構の解明 | 廉本寧 |

4. 4. 3 特許等の出願

| 国名 | 件名 | 出願番号 | 出願年月日 | 内容 | 出願者 |
|----|----|-------------|-------|--|----------------------|
| 日本 | 特許 | 2010-147618 | 6月29日 | Cu、In、GaおよびSeの元素を含有する粉末、焼結体およびスパッタリングターゲット並びに上記粉末の製造方法 | 柏井茂雄 福住正文 |
| | | 2010-163315 | 6月30日 | 高撥水構造の形成方法 | 鷺家洋彦 本田幸司 磯野禎三 |
| | | 2010-188148 | 8月25日 | 高周波回路用ポリテトラフルオロエチレン基板の銅メッキ方法 | 柴原正文 本田幸司 |
| | | 2010-204132 | 9月13日 | 応力発光物質及びその製造方法 | 石原嗣生 |
| | | 2011-001862 | 1月7日 | 粉体化粧料 | 長谷朝博 |
| | | 2011-002325 | 1月7日 | 結晶性薄膜又は結晶性構造体の製造方法、及び結晶性構造体 | 泉 宏和 |
| | | 2011-066091 | 3月24日 | 基材表面に耐食性合金皮膜を形成させる方法 | 福住正文 |
| | | 2011-056684 | 3月15日 | 行動解析装置、行動解析プログラム、及び、情報検出装置 | 才木常正 下岡由佳子 |
| | | 2011-060069 | 3月18日 | 繊維強化複合材料およびその成形体 | 藤田浩行 |

4. 4. 4 特許等の取得

| 国名 | 件名 | 登録番号 | 登録年月日 | 内容 | 取得者 |
|----|------|---------|------------|--|-----------------------|
| 日本 | 特許取得 | 4478787 | 平成22年3月26日 | 多孔質体製造装置およびその装置で製造される多孔質体 | 中野恵之 |
| | | 4521757 | 6月4日 | 箆（オサ）打ち装置 | 小柴和彦 |
| | | 4538653 | 7月2日 | マイクロ加工装置 | 安東隆志 |
| | | 4549213 | 7月16日 | 多重シーン撮像用光学素子および視線検出入力装置 | 下岡由佳子 北川洋一 小坂宣之 |
| | | 4581077 | 9月10日 | 酸化物イオン伝導体及びその製造方法 | 吉岡秀樹 |
| | | 4588370 | 9月17日 | アルミニウム製パイプとの接続部を備えたステンレス鋼製振動吸収管 | 有年雅敏 |
| | | 4625272 | 11月12日 | 情報管理方法および情報管理システム | 三浦久典 小坂宣之 |
| | | 4664580 | 1月14日 | 亜臨界水又は超臨界水を用いた連続処理装置 | 原田 修 桑田 実 藤村 庄 |
| | | 4667538 | 1月21日 | 粉体化粧料 | 長谷朝博 |
| | | 4686341 | 2月18日 | エレクトロスピンニングを用いたコラーゲン繊維の製造方法及び該製造方法によって製造されるコラーゲン繊維 | 中野恵之 一森和之 桑田 実 |
| | 実用新案 | 3163272 | 9月15日 | 捕獲ネット落下装置 | 松本哲也 北川洋一 永本正義 |

5. 収支決算

5.1 歳入

(平成22年3月31日現在)

| 科 目 | 決 算 額 (円) |
|---------------|-------------|
| (款) 使用料及び手数料 | 29,071,515 |
| (項) 使用料 | 23,252,015 |
| (目) 商工使用料 | 23,252,015 |
| (項) 手数料 | 5,819,500 |
| (目) 商工手数料 | 5,819,500 |
| (款) 財産収入 | 33,060 |
| (項) 財産売却収入 | 33,060 |
| (目) 物品売却収入 | 33,060 |
| (款) 諸収入 | 55,825,636 |
| (項) 受託事業収入 | 3,824,900 |
| (目) 商工費受託事業収入 | 3,824,900 |
| (項) 雑収入 | 52,000,736 |
| (目) 雑収入 | 52,000,736 |
| 計 | 84,930,211 |

5.2 歳出

| 科 目 | 決 算 額 (円) |
|---------------|-------------|
| (款) 商工業費 | 259,261,188 |
| (項) 工鉦業費 | 259,261,188 |
| (目) 中小企業振興費 | 4,611,680 |
| (目) 工鉦業振興対策費 | 3,995,941 |
| (目) 工業技術センター費 | 250,653,567 |
| 計 | 259,261,188 |

6. 平成22年度 設置備品

6. 1 自転車等機械工業振興補助事業

| 品名 | 型式 |
|-------------|-------------|
| 微小部X線応力測定装置 | D8 DISCOVER |
| 動的接触角測定装置 | DSA100S |

※当補助事業による機器整備には、競輪（財）JKAの補助金が使われています。



6. 2 機器整備費

| 品名 | 型式 |
|-----------------------------|------------------------|
| フレキシメーター | FOM-120 |
| 質量分析計付ガスクロマトグラフ用制御・データ処理装置 | TurboMass |
| pHメーター | F-51S |
| 純水製造装置 | RFD240NA |
| 顕微付フーリエ変換赤外分光光度計用制御・データ処理装置 | Spectrum One AutoImage |
| 顕微鏡 | LV100D |

6. 3 老朽機器更新事業

| 品名 | 型式 |
|---------------|---------------------------------|
| 全自動検撚機 | USTER ZWEIGLE TWIST TESTER 5-SA |
| マイクローム | TU-213、MA-150 |
| 分析天秤 | CPA225D、SEL-0975P、VAM-2 |
| ECD付ガスクロマトグラフ | GC-2014ASC |
| 還元気化水銀測定装置 | HG450-5D |
| 定温器 | HR-63XT |
| 低温恒温水槽 | CF701 |

7. 運營業務

7. 1 主催及び共催した講習会・講演会

7. 1. 1 科学技術週間関連

| 講習会・講演会名 | 題 目 | 会 場 | 受講人員 | 月 日 | 担当者 |
|--|--------------|----------------|------|---------------|----------|
| 兵庫県発明賞表彰式及び創意工夫功労者賞等伝達式並びに科学技術週間記念講演会 講演：「ひと・社会と繋がる新しい地球観測予測シミュレーション」 (独)海洋研究開発機構地球シミュレータセンター プログラムディレクター 高橋 桂子 | | 兵庫県公館 | 208 | 4月17日 | 技術支援部 |
| 科学技術週間記念行事 | 手織り機体験教室 | 繊維工業技術支援センター | 28 | 4月15日 ～16日 | 近藤、原田(知) |
| | 施設一般公開（全館開放） | 工業技術センター | / | 4月13日 ～19日 | 技術支援部 |
| | | 機械金属工業技術支援センター | | | 高橋 他 |
| | | 繊維工業技術支援センター | | | 有年 他 |
| 皮革工業技術支援センター | 中川 他 | | | | |

7. 1. 2 トライやる・ウィーク等

7. 1. 2. 1 トライやる・ウィーク

| 講習会・講演会名 | 題 目 | 会 場 | 受講人員 | 月 日 | 担当者 |
|------------|---------------------|--------------|-----------------|----------------------|----------------|
| トライやる・ウィーク | 皮革に関する実習・日常業務体験 | 皮革工業技術支援センター | 東光 中学校 4人 | 6月8日 ～ 6月12日 | 皮革工業技術支援センター職員 |
| | ものづくり技術や試験の体験 | | 鷹取 中学校 4人 | | ものづくり開発部 |
| | 食べ物を作る・調べる、地球環境を考える | 工業技術センター | 鷹取 中学校 5人 | 11月8日 ～ 11月12日 | 環境・バイオ部 |
| | 情報・電子に関する実習・日常業務体験 | | 丸山 中学校 3人 | | 情報技術部 |

7. 1. 2. 2 2010年夏休み神戸市立公民館サマースクール

| 講習会・講演会名 | 題 目 | 会 場 | 受講人員 | 月 日 | 担当者 |
|----------|-------------------|----------|------|-------|----------|
| 科学実験体験教室 | 低温の世界を体験しよう | 工業技術センター | 20 | 7月29日 | ものづくり開発部 |
| | サーモグラフィ装置を使った体温測定 | | | | 情報技術部 |
| | 果物で電池を組み立てよう | | | | 環境・バイオ部 |

7. 1. 3 研究発表会

7. 1. 3. 1 工業技術センター研究成果発表会

| 講習会・講演会名 | 題 目 | 会 場 | 受講人員 | 月 日 | 担当者 |
|----------------------------------|--|--------------|------|--------|----------------|
| 平成22年度工業技術センター研究成果発表会 (テクノピア) | 研究成果報告 6課題 共同研究成果報告 3課題 ポスターセッション 14課題 | 工業技術センター | 193 | 11月17日 | 各研究課題担当者 |
| 平成18-20年度戦略的基盤技術高度化支援事業成果発表 | 低コスト・短納期・高品質で環境配慮にも対応した織物試作システムの開発 | 繊維工業技術支援センター | 50 | 10月21日 | 繊維工業技術支援センター職員 |

7. 1. 3. 2 研究成果発表会(テクノピア)

主 催： 兵庫県立工業技術センター
兵庫県工業技術振興協議会
日 時： 平成22年11月17日
会 場： 工業技術センター
受講人員： 193人

| No. | 題 目 | 担当者 |
|-----------------|---------------------------------|------------------------------------|
| 成果発表[口頭発表] | | |
| 1 | 高輝度な赤色応力発光体を用いた応力が直接目視できるセンサの開発 | 石原嗣生 |
| 2 | 扁平状セルローズ微粒子を活用した高機能化粧品の開発 | 長谷朝博 |
| 3 | 無電解めっきを活用した製品開発と高品位化に関する研究 | 山岸憲史 |
| 4 | 把持方法と握りやすさに関する研究 | 平田一郎 |
| 5 | のじぎく茶の開発 | 井上守正 |
| 6 | ニホンジカの製革技術の開発 | 佐伯 靖 |
| 共同研究成果発表[口頭発表] | | |
| 7 | 2段階作動方式リニア駆動機構の実用化への取組み | サイエンティフィックテクノロジーズ(有) 代表取締役 村尾良男 |
| 8 | 医療用微細針の超精密微細成形加工に係る技術 | (株)ライトニックス 代表取締役 福田光男 |
| 9 | クラッシュ加工織物シミュレーションシステム | (株)ブレイン 代表取締役社長 神戸 壽 |
| 成果発表[ポスターセッション] | | |
| 10 | 高速成膜したc-BN膜の評価と応用 | 山下 満 |
| 11 | 高周波回路用フッ素樹脂基板の銅被膜形成 | 柴原正文 |
| 12 | CIGS太陽電池用スパッタリングターゲットの開発 | 福住正文 |
| 13 | 高齢者と福祉用具との共存を推進するゴム製段差解消スロープの開発 | 鷲家洋彦 |
| 14 | 触感評価法を用いたグリップ用ゴム材料の開発に関する研究 | 佐伯光哉 |

| No. | 題 目 | 担当者 |
|-----|--------------------------------|------------|
| 15 | 吊り下げ電極による曲がり穴放電加工法の開発 | 山口 篤 |
| 16 | 形状記憶合金のマイクロ切削加工技術に関する研究 | 平山明宏 |
| 17 | 衣服型人体動作入力装置の開発 | 後藤泰徳 |
| 18 | シカ捕獲ネット落下装置の開発 | 永本正義 |
| 19 | 磁気式触覚センサ | 中本裕之 |
| 20 | 外乱振動の影響除去可能な光干渉型振動測定技術の開発 | 松本哲也 |
| 21 | 口腔内加速度センサを用いた発話検出 | 才木常正、瀧澤由佳子 |
| 22 | 播州織固有の変織技法による世界初の無縫製織物ドレスの研究開発 | 古谷 稔 |
| 23 | 縫合技術を利用した炭素繊維織物強化複合材料の開発 | 藤田浩行 |

7. 1. 4 移動工業技術センター事業

| 番号 | 月 日 | 会合名 | 会 場 | 参 加 企業数 | 共 催 団 体 |
|----|---------------|-------------------------|------------------|------------|--------------------------------|
| 1 | 5月20日 | 創業・第二創業 総合キックオフ セミナー | 神戸市産業振興 センター | 150 | 兵庫県、神戸市、(財)ひょう ご産業活性化センター 他 |
| 2 | 6月11日 | 神戸市内中小企業加工技術展示商 談会 | 神戸市産業振興 センター | 450 | 神戸市、(財)神戸市産業振興 財団 他 |
| 3 | 7月14日 15日 | ビジネスアリーナ2010in兵庫 | 兵庫県立武道館 (姫路市) | — | 姫路商工会議所 |
| 4 | 7月22日 | 三木商工会議所セミナー | 三木商工会館 | 34 | 三木商工会議所 |
| 5 | 8月25日 26日 | ビジネスマッチングフェアin加古 川 | 加古川市民会館 | 96 | 加古川市、東播磨県民局、加 古川商工会議所 他 |
| 6 | 9月 9日 10日 | 国際フロンティア産業メッセ2010 | 神戸国際展示場 | — | 国際フロンティア産業メッセ 2010実行委員会 |
| 7 | 9月27日 | 平成22年度兵庫県立大学シンポジ ウム | イーグレ姫路 | 24 | 兵庫県立大学、兵庫県立大学 シンポジウム実行委員会 |
| 8 | 10月21日 22日 | あまがさき産業フェア2010 | 尼崎市中小企業 センター | 30 | 尼崎産業フェア実行委員会 |
| 9 | 11月12日 | 移動工業技術センターin社 | 兵庫県信用組合 社支店 | 30 | 兵庫県中小企業団体中央会 |
| 10 | 11月20日 21日 | ひょうご皮革総合フェア2010 | たつの市総合文 化会館 | 72 | 兵庫県、たつの市、兵皮連 |
| 11 | 12月7日 | 知財ビジネスマッチングフェア 2010 | インテックス大 阪 | 76 | 特許庁、近畿経済産業局、近 畿知財戦略本部 |
| 12 | 1月20日 | 移動工業技術センターin加古川 | 加古川市民会館 | 59 | 加古川市、東播磨県民局、加 古川商工会議所 |
| 13 | 1月28日 | 移動工業技術センターin但馬 | 但馬技術大学校 (豊岡市) | 93 | 但馬県民局、但馬技術大学 校、兵庫県立大学 |

| 番号 | 月日 | 会合名 | 会場 | 参加企業数 | 共催団体 |
|----|-------|----------------|--------------|-------|-------------------------------|
| 14 | 2月6日 | サイエンスフェアin兵庫 | 神戸国際展示場 | 43 | 兵庫「咲いテク（サイエンス&テクノロジー）」事業推進委員会 |
| 15 | 2月9日 | はりま産学交流会2月例会 | 姫路商工会議所 | 101 | はりま産学交流会 |
| 16 | 2月16日 | 移動工業技術センターin明石 | 明石市立産業交流センター | 82 | 明石市、明石市産業振興財団、明石高専 |
| 17 | 2月18日 | 移動工業技術センターin神戸 | 兵庫県信用組合三宮支店 | 34 | 兵庫県中小企業団体中央会 |
| 18 | 3月1日 | 健康科学推進フォーラム | 神戸国際会館 | 87 | 健康科学推進会議・神戸大学 |
| 19 | 3月11日 | 移動工業技術センターin姫路 | まねきホール(姫路市) | 65 | ひょうご科学技術協会 |

7. 1. 5 金属技術に関する講習会(三木商工会議所共催)

| 講習会・講演会 | No. | 題目 | 会場・場所 | 受講人員 | 月日 | 担当者 |
|--------------------------------------|-----|-------------------------|----------------|------|--------|-------------|
| ものづくりの基礎技術と工業技術センターの活用～明日につながる確かな技術～ | 1 | 鋼の熱処理Q&A | 三木商工会館 | 80 | 6月23日 | 後藤(浩) |
| | 2 | 工業技術センターの整備概要とご利用案内 | | 22 | 7月22日 | 山田、北川 |
| | 3 | 機械図面の見方Ⅰ | | 33 | 8月24日 | 後藤(浩) |
| | 4 | 機械図面の見方Ⅱ | | 33 | 8月25日 | |
| | 5 | 機械図面の見方Ⅲ | | 32 | 8月26日 | |
| | 6 | 金属組織観察と硬さ試験(実習) | 機械金属工業技術支援センター | 19 | 9月30日 | 山口、稲葉 |
| | 7 | 電子顕微鏡等を用いた機器分析技術の紹介(実習) | | 18 | 10月21日 | 山岸、園田 |
| | 8 | 強度試験と火花試験(実習) | | 18 | 11月25日 | 永本、西羅 |
| | 9 | ものづくりを支える材料評価技術 | 三木商工会館 | 7 | 12月21日 | 柏井、石原(嗣)、長谷 |
| | 10 | 切削加工の基礎 | | 80 | 1月25日 | 後藤(浩) |
| | 11 | ものづくりへの取組紹介 | | 21 | 2月22日 | 福地、岸本、阿部 |
| | 12 | 情報技術部の概要と開発事例紹介 | | 11 | 3月24日 | 三浦、中里 |

7. 1. 6 その他の講習会、講演会、技術研究会、技術懇談会の開催

| 講習会・講演会 | 題目 | 会場・場所 | 受講人員 | 月日 | 担当者 |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------|--------|------------------------------------|-------------------|
| 技術企画部 | | | | | |
| 科学技術振興機構(JST)セミナー | 科学技術振興機構(JST)セミナー | 工業技術センター | 83 | 4月21日 | 山田 |
| 知的財産セミナー | 知的財産セミナーI | | 29 | 10月26日 | 杉本 |
| | 知的財産セミナーII | | 31 | 11月2日 | |
| 「あわじ環境未来島構想」関係技術オープンセミナー | | 工業技術センター | 96 | 2月10日 | 富田 |
| 技術支援部 | | | | | |
| 第16回ひょうご技術交流大会 | 第16回ひょうご技術交流大会 | 神戸市産業振興センター | 378 | 6月2日 | 石原(マ) |
| 兵庫県ビームライン成果報告会 | 身近に役立つ放射光 | 工業技術センター | 97 | 12月9日 | 北川、石原(嗣) 岸本 |
| 材料技術部 | | | | | |
| 3研究会(試験分析研究会、メッキ研究会、鋳造研究会)合同講演会 | 3研究会(試験分析研究会、メッキ研究会、鋳造研究会)合同講演会 | 神戸市産業振興センター | 49 | 2月23日 | 石原(嗣)、柴原 |
| 近畿包装研究会 | 役員会 | 工業技術センター | 12 | 4月12日 | 佐伯(光)、本田 磯野、柏井 |
| | 第50回記念式典、総会 | 楠公会館 | 60 | 7月8日 | |
| | 包装サマーセミナー | 工業技術センター | 19 | 8月24日 26日 | |
| | 第50回総会記念誌編集委員会 | | 11 | 9月22日 | |
| | | | 10 | 10月25日 | |
| | 2010東京国際包装展見学会 | 東京ビックサイト | 10 | 10月7日 | |
| 包装に関する技術講演会 | 兵庫県民会館 | 35 | 1月25日 | 佐伯(光)、本田 磯野、柏井 | |
| 神戸ゴム科学研究会 | 第53回定期総会 | 工業技術センター | 19 | 5月19日 | 長谷、鷺家、 本田、磯野 |
| | 技術講習会 | | 36 | | |
| | 第51回神戸ゴム教室 | | 15 | 6月24日 30日 7月9日 16日 23日 | |
| | 役員会 | | 6 | 8月20日 | |
| | | | 6 | 3月8日 | |
| | 第25回総合紹介講演会 | | 兵庫県民会館 | 132 | |

| 講習会・講演会 | 題目 | 会場・場所 | 受講人員 | 月日 | 担当者 |
|---------------|--------------------------|-----------------------|------|--------|----------------|
| 兵庫県試験・分析技術研究会 | 役員会 | 工業技術センター | 14 | 5月10日 | 山下、石原(嗣) 柏井 |
| | | | 14 | 9月1日 | 石原(嗣)、柏井 |
| | | | 9 | 12月16日 | |
| | 総会 | 神戸市産業振興センター | 20 | 6月2日 | 柏井、石原(嗣) 山下 |
| | 見学会 | 産業技術総合研究所関西センター | 18 | 11月10日 | |
| 兵庫県鑄造技術研究会 | 総会 | 神戸市産業振興センター | 21 | 6月2日 | 柏井、福住 |
| | 講演会 | 神戸市勤労会館 | 35 | 10月5日 | |
| | 見学会 | インテックス大阪 | 10 | 10月20日 | |
| | 見学会 | (株)前川製作所 他 | 15 | 11月19日 | |
| | 講演会 | 神戸市勤労会館 | 19 | 1月7日 | |
| ものづくり開発部 | | | | | |
| 兵庫県機械技術研究会 | 「低炭素社会実現」に関する技術講演会 | 工業技術センター | 46 | 6月30日 | ものづくり開発部職員 |
| | 県内工場見学会 | ヒガシマル醤油(株)、(株)帝国電機製作所 | 28 | 7月9日 | |
| | 機械図面の見方に関する講習会 | 工業技術センター | 18 | 8月5日 | |
| | 次世代を担う若手・中堅技術者による交流会 | | 56 | 10月15日 | |
| | 一から学ぶ「シーケンス制御」に関する講習会 | | 18 | 11月25日 | |
| | 切削加工ちよー基礎講座 | | 49 | 12月21日 | |
| | 新春特別講演会(兵庫エレクトロニクス研究会共催) | 湊川神社楠公会館 | 47 | 2月4日 | |
| | 県外工場見学会 | (株)近江物産、 神港精機(株) | 20 | 2月22日 | |
| | 技術基礎講座「わかる鋼の熱処理」 | 工業技術センター | 32 | 3月10日 | |
| | 企画運営委員会 | ビジネスプラザひょうご | 24 | 4月23日 | |
| | | 工業技術センター | 10 | 11月12日 | |
| | 理事会 | 神戸市産業振興センター | 25 | 6月2日 | |
| | 第56回定期総会 | | 46 | 6月2日 | |
| | 理事会 | 湊川神社楠公会館 | 26 | 2月4日 | |

| 講習会・講演会 | 題目 | 会場・場所 | 受講人員 | 月日 | 担当者 |
|----------------|---------------------------|--------------------------|------|---------------|-------------------|
| 兵庫プロダクトデザイン交流会 | 総会 | 神戸市産業振興センター | 18 | 6月15日 | 福地、岸本、後藤(泰)、平田 |
| | 勉強会 | 工業技術センター | 16 | 9月2日 | 岸本、後藤(泰)平田 |
| | 兵庫県プロダクトデザインセミナーin神戸 | 神戸市産業振興センター | 68 | 10月21日 | 福地、岸本、後藤(泰)、平田、浜口 |
| | 見学会 | パナソニック電工株式会社 | 29 | 1月26日 | 岸本、後藤(泰)平田 |
| 環境・バイオ部 | | | | | |
| 兵庫県バイオ技術研究会 | 総会 | 神戸市産業振興センター | 20 | 6月2日 | 吉田 |
| | 見学会 | コープこうべ六甲アイランド工場・商品検査センター | 56 | 7月16日 | 吉田、高岡、吉岡 |
| | 設立20周年記念講演会 | 神戸市産業振興センター | 50 | 12月1日 | |
| | 研究者の交流会 | 工業技術センター | 42 | 3月18日 | 吉田、吉岡、大橋 |
| 兵庫県酒造技術研究会 | 役員会 | 神戸市産業振興センター | 20 | 6月2日 | 井上、平瀬、高岡 |
| | 技術講習会 | 工業技術センター | 30 | 6月28日 | 吉岡、平瀬 |
| | 総会 | | 30 | 7月28日 | 井上、平瀬 |
| | 全国出品予定酒利き酒会 | | 30 | 3月24日 | 井上、吉岡 |
| 情報技術部 | | | | | |
| 兵庫エレクトロニクス研究会 | 定期総会・特別講演会 | 神戸市産業振興センター | 42 | 6月2日 | 情報技術部職員 |
| | 研修会「EMI技術の基礎」 | 工業技術センター | 3 | 8月3日～4日 | 中里 |
| | 研修会「アナログ技術回路」 | | 8 | 8月26日～27日 | 瀧澤 |
| | 研修会「FPGA入門」 | | 6 | 9月1日～2日 | 中里 |
| | 「計算機シミュレーションを利用しませんか」セミナー | 甲南大学 | 41 | 9月15日 | 三浦、松本(哲)瀧澤、伍賀 |
| | 甲南大学FIRST見学会 | 甲南大学 | 30 | 10月7日 | 三浦、松本(哲)中里、瀧澤、伍賀 |
| | 設立二十周年記念大会 | 湊川神社楠公会館 | 78 | 10月28日 | 情報技術部職員 |
| | シミュレーション技術セミナー | 工業技術センター | 38 | 1月11日 | |
| | | | 18 | 2月15日 | |
| 新春特別講演会、交流会 | 湊川神社楠公会館 | 15 | 2月4日 | 三浦、松本(哲)中里、瀧澤 | |

| 講習会・講演会 | 題目 | 会場・場所 | 受講人員 | 月日 | 担当者 | |
|----------------|---------------------------------|----------------------------|-------|--------|-------------------|----|
| 兵庫エレクトロニクス研究会 | 会員企業見学会 | 古野電気㈱、フルノ・ラボテック・インターナショナル㈱ | 18 | 3月3日 | 三浦、松本(哲) 中里、瀧澤 | |
| 機械金属工業技術支援センター | | | | | | |
| 三木特産工業技術研究会 | 役員会 | 機械金属工業技術支援センター | 13 | 4月6日 | 山口、山下 | |
| | | | 13 | 5月11日 | 山口 | |
| | | | 9 | 6月8日 | | |
| | | | 10 | 7月6日 | | |
| | | | 11 | 7月20日 | | |
| | | | 12 | 9月14日 | | |
| | | | 12 | 10月12日 | | 園田 |
| | | | 13 | 11月9日 | | 山口 |
| | 役員会 | 機械金属工業技術支援センター | 10 | 1月11日 | 山口 | |
| | | | 11 | 2月8日 | 園田 | |
| | | | 11 | 3月8日 | | |
| | 定期総会 | 三木山森林公園森の文化会館 | 40 | 5月17日 | 山口、園田、後藤(浩) | |
| | 例会 | 日本理化学工業(株)、北嶋紋製作所 | 18 | 9月6日 | 山口 | |
| | | | 20 | 12月3日 | | |
| 27 | | | 1月19日 | | | |
| 三木ホースランドパーク | | | 28 | 2月25日 | 山口、永本 | |
| 兵庫県メッキ研究会 | 総会 | 姫路キャッスルホテル | 37 | 5月14日 | 後藤(浩)、園田 山岸 | |
| | 役員会 | | 20 | 5月14日 | 園田、山岸 | |
| | 企画委員会 | 神戸センタープラザ | 5 | 4月15日 | 山岸 | |
| | | | 5 | 7月15日 | | |
| | 講演会 | 姫路キャッスルホテル | 78 | 5月14日 | 後藤(浩)、園田 山岸 | |
| | 技術講習会 (試験分析研究会、鋳造研究会との合同講演会) | 神戸市産業振興センター | 49 | 2月23日 | 山岸 | |
| | 見学会 | 徳島航空基地、大塚食品、睦技研(株) | 17 | 9月28日 | | |

| 講習会・講演会 | 題目 | 会場・場所 | 受講人員 | 月日 | 担当者 |
|---------------|------------|---------------------|------|---------------------|---------------|
| 兵庫県メッキ研究会 | 見学会 | 森脇鍍金工業(株)、奥野製薬工業(株) | 14 | 11月24日 | 山岸 |
| 繊維工業技術支援センター | | | | | |
| オリジナル織物展示会 | オリジナル織物展示会 | 繊維工業技術支援センター | — | 3月23日 ～ 4月26日 | 古谷 |
| 皮革工業技術支援センター | | | | | |
| 兵庫県革製品研究会 | 皮革まつり | 姫路じばさんびる | — | 10月27日 | 西森、佐伯(靖)桑田 |
| 兵庫県バイオポリマー研究会 | 講演会 | 姫路キャッスルホテル | 18 | 7月28日 | 松本(誠)、原田(修)、森 |

7. 2 講師、審査員の派遣

| 事項 | 依頼機関 | 会場 | 月日 | 担当者 | |
|------------------------|-----------------------|---------------|---------|--------------|--------------|
| 全部所に関すること | | | | | |
| 経営革新計画承認審査会 | (財)ひょうご産業活性化センター | ひょうご産業活性化センター | 4月13日 | 福地雄介 | |
| | | | 4月27日 | 井上守正 | |
| | | | 5月11日 | 松本哲也 | |
| | | | 6月8日 | 柏井茂雄 | |
| | | | 6月22日 | 福地雄介 | |
| | | | 7月13日 | 吉岡秀樹 | |
| | | | 8月24日 | 福地雄介 | |
| | | | 9月14日 | 柏井茂雄 | |
| | | | 9月28日 | 井上守正 | |
| | | | 10月26日 | 北川洋一 | |
| | | | 11月9日 | 柏井茂雄 | |
| | | | 11月25日 | 福地雄介 | |
| | | | 12月7日 | 井上守正 | |
| | | | 1月11日 | 北川洋一 | |
| 1月25日 | | | | | |
| 2月22日 | 吉岡秀樹 | | | | |
| 事業化計画認定審査会 | 新分野進出等支援事業・事業化計画認定審査会 | 兵庫県民会館 | 5月24日 | 中川和治 | |
| 姫路市ものづくり開発奨励補助金選考会 | 姫路市 | 姫路市役所 | 1月12日 | 北川洋一 山田和俊 | |
| 阪神南リーディングテクノロジー実用化支援事業 | 目利き委員会 実行委員会 | 阪神南県民局 | エーリックビル | 10月7日 | 北川洋一 福地雄介 |
| | | | | 2月27日 | |
| | | | | 2月27日 | 北川洋一 |

| 事 項 | 依頼機関 | 会 場 | 月 日 | 担当者 |
|---------------------------------|------------------|---------------|--------|----------------------|
| 技術企画部 | | | | |
| 成長期待企業発掘・育成委員会 | (財)ひょうご産業活性化センター | ひょうご産業活性化センター | 5月28日 | 兼吉高宏 |
| | | | 6月25日 | |
| | | | 7月30日 | |
| | | | 8月27日 | |
| | | | 9月24日 | |
| | | | 10月29日 | |
| | | | 11月26日 | |
| | | | 1月28日 | |
| | | | 3月25日 | |
| | | | 8月26日 | |
| ひょうごチャレンジプロジェクト運営委員会 | | | 10月15日 | |
| | | | 1月27日 | |
| ひょうご・神戸チャレンジマーケット プレプレゼンテーション | | | 9月16日 | |
| 技術支援部 | | | | |
| 平成22年度兵庫県技能者表彰選考委員会 | 兵庫県産業労働部能力開発課 | 兵庫県職員会館 | 8月20日 | 石原マリ |
| 神戸洋菓子デザインアワード表彰式 | 神戸市 | 神戸国際展示場 | 11月6日 | 後藤泰徳 |
| 平成22年度第2回西宮市優良事業所顕彰選考委員会 | 西宮市 | 西宮市職員会館 | 11月15日 | 北川洋一 |
| ひょうご産業デザイン発掘プログラム審査会 | (財)ひょうご産業活性化センター | ひょうご産業活性化センター | 1月14日 | 大槻隆雄 |
| はりま産学交流会H23年 2月例会/補助事業・助成金活用説明会 | はりま産学交流会 | 姫路商工会議所 | 2月9日 | 北川洋一 |
| 材料技術部 | | | | |
| 第51回神戸ゴム教室 | 神戸ゴム科学研究会 | 工業技術センター | 6月24日 | 鷺家洋彦 |
| | | | 6月24日 | 長谷朝博 |
| | | | 6月30日 | 長谷朝博 鷺家洋彦 本田幸司 |
| | | | 7月16日 | 磯野禎三 鷺家洋彦 本田幸司 |
| プラスチック射出成形作業技能検定実技試験 | 兵庫県職業能力開発協会 | 東洋機械金属(株) | 8月2日 | 佐伯光哉 |
| | | | 8月12日 | |
| | | | 8月20日 | |
| | | | 8月2日 | 長谷朝博 |
| | | | 8月9日 | |
| 8月31日 | | | | |

| 事 項 | 依頼機関 | 会 場 | 月 日 | 担当者 |
|---------------------------------|--------------------------|-----------------|----------------|--------------|
| プラスチック射出成形作業技能検 | 兵庫県職業能力開発協会 | 東洋機械金属(株) | 8月5日 | 磯野禎三 |
| | | | 8月17日 | |
| | | | 8月30日 | |
| | | | 8月11日 | 鷺家洋彦 |
| | | | 8月18日 | |
| | | | 8月25日 | |
| 平成22年度高等技術専門学院先端技術習得支援事業 | 神戸高等技術専門学院 姫路高等技術専門学院 | 工業技術センター | 11月9日 | 山下 満 |
| 高校生のためのサイエンスサマースクール | ひょうご科学技術協会 | ひょうご科学技術協会 | 8月10日 ～ 12日 | |
| ものづくり開発部 | | | | |
| 第42回兵庫県溶接技術競技会審査員 | (一社)兵庫県溶接協会 | 加古川職業能力開発促進センター | 4月3日 | 浜口和也 |
| | | 大盛建設工業株式会社 | 4月16日 | |
| 第42回兵庫県溶接技術競技会審査員 | (一社)兵庫県溶接協会 | 兵庫県立工業技術センター | 4月23日 | 浜口和也 |
| 第3回ニューテックフォーラム in MOBIO-Cafe | (独)科学技術振興機構 | クリエーション・コア東大阪 | 2月9日 | 山本章裕 |
| 環境・バイオ部 | | | | |
| 客員教授講義 | 兵庫県立大学 | 兵庫県立大学書写キャンパス | 10月5日 | 吉岡秀樹 |
| | | | 10月12日 | |
| | | | 10月19日 | |
| | | | 10月26日 | |
| | | | 11月2日 | |
| | | | 11月16日 | |
| | | | 12月7日 | |
| | | 工業技術センター | 12月14日 | |
| | | 兵庫県立大学書写キャンパス | 12月21日 | |
| | | | 1月11日 | |
| | | | 1月25日 | |
| 2月1日 | | | | |
| 情報技術部 | | | | |
| OB講義「情報知能工学総論」 | 神戸大学システム情報科学研究科 | 神戸大学工学部 | 6月30日 | 松本哲也 |
| 機械金属工業技術支援センター | | | | |
| 伝統工芸品「播州三木打刃物」表示検査委員会 | 三木工業協同組合 | 三木商工会館 | 7月14日 | 後藤浩二 園田 司 |
| | | | 10月14日 | |
| | | | 10月14日 | |
| | | | 3月15日 | |

| 事 項 | 依頼機関 | 会 場 | 月 日 | 担当者 |
|--|--------------------------|--------------------|-----------------|--------------|
| 三木金物ニューハードウェア賞 審査会 | 三木市 三木金物振興審議会 | 三木市役所 | 8月9日 | 後藤浩二 後藤泰徳 |
| 平成22年度技能検定委員（金 属熱処理） | 兵庫県職業能力開発協会 | 機械金属工業技 術支援センター | 8月29日 | 後藤浩二 園田 司 |
| | | 兵庫県立小野工 業高等学校 | 8月29日 | 西羅正芳 |
| 三木市新商品発注に係る認定審 査会 | 三木市 | 三木市役所 | 10月8日 | 後藤浩二 |
| 三木市技能顕功賞審査会 | | | 10月19日 | |
| 三木金物新製品及び素材開発支 援補助金審査会 | | | 10月20日 | |
| 繊維工業技術支援センター | | | | |
| 第125回上田学園コレクションプ レタポルテ2010審査会 | 上田安子服飾専門学校 | 海岸通ギャラ リーCASO | 6月4日 | 古谷 稔 |
| 第56回高分子研究発表会ポス ター審査委員 | 高分子学会関西支部 | 兵庫県民会館 | 7月16日 | 中野恵之 |
| 第20回かばんデザインコンテス ト審査会 | 豊岡鞆協会 | 豊岡鞆協会 | 9月6日 | 古谷 稔 |
| | | じばさんTAJIMA | 11月3日 | |
| エレクトロスピンニングの工業化 最前線「新規エレクトロスピン ニング技術の開発」 | 繊維学会関西支部第39回 関西繊維セミナー | 滋賀県立大学 | 9月29日 | 中野恵之 |
| (社)日本繊維機械学会「第17回 秋季セミナー」講師 | (社)日本繊維機械学会 | 同志社大学 | 11月25日 ～ 26日 | 古谷 稔 |
| 皮革工業技術支援センター | | | | |
| 日本エコレザー審査分科会 | (社)日本皮革産業連合会 | 皮革健保会館 | 5月20日 | 中川和治 |
| | | | 11月26日 | |
| | | (社)日本皮革産 業連合会 | 2月28日 | |
| 西日本梱包工業組合・梱包管理 組合秋季大会講演会 | 西日本梱包工業組合 | (株)リョウサン | 11月5日 | 桑田 実 |
| ニューレザーコンテスト | 兵庫県皮革産業協同組合 連合会 | 赤とんぼホール | 11月19日 | 中川和治 |

7. 3 産業技術連携推進会議等

| 日付 | 名称・事項 | 主催機関 | 会場・場所 | 担当者 |
|--------------|--|-------------------------------|------------------|----------------|
| 技術企画部 | | | | |
| 7月15日 | 近畿地域産業技術連携推進会議企画委員会ワーキング・グループ | 近畿経済産業局 | 大阪合同庁舎 | 兼吉 |
| 2月28日 | 第51回産業技術連携推進会議総会 | 産業技術連携推進会議 | アルカディア市ヶ谷 | 北村、兼吉 |
| 3月10日 | 近畿地域産業技術連携推進会議総会・地域部会総会 | 近畿地域産業技術連携推進会議 | 大阪合同庁舎 | 兼吉 |
| 材料技術部 | | | | |
| 6月9日 | 産業技術連携推進会議近畿地域部会 ナノテクノロジー分科会運営委員会 | 奈良県工業技術センター、産業技術総合研究所関西センター | 奈良県工業技術センター | 長谷 |
| 10月6日 | | 和歌山県工業技術センター、産業技術総合研究所関西センター | 和歌山県工業技術センター | |
| 2月24日 | | 産業技術総合研究所関西センター | 産業技術総合研究所関西センター | |
| 10月21日～22日 | 産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会第48回高分子分科会 | 産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会高分子分科会 | 山口グランドホテル | 北村、磯野 長谷 |
| 12月1日 | 産業技術連携推進会議近畿地域部会セラミックス分科会窯業部会 | 工業技術センター、産業技術総合研究所関西センター | 工業技術センター | 柏井、石原(嗣)、柴原、山下 |
| ものづくり開発部 | | | | |
| 10月27日 | 産業技術連携推進会議近畿地域部会デザイン分科会 | 産業技術総合研究所関西センター、奈良県工業技術センター | 奈良県工業技術センター | 岸本、平田 |
| 環境・バイオ部 | | | | |
| 10月8日 | 産業技術連携推進会議近畿地域部会食品・バイオ分科会 | 産業技術総合研究所関西センター | おおさかATCグリーンエコプラザ | 井上 |
| 10月28日 | プリンテッドエレクトロニクス用材料評価連携WG | 産業技術総合研究所関西センター | 大阪市立工業研究所 | 平瀬 |
| 1月18日 | | | | |
| 情報技術部 | | | | |
| 11月4日～5日 | 情報通信・エレクトロニクス部会第15回電磁環境分科会及び第20回EMC分科会 | 情報通信・エレクトロニクス部会 | 秋田県産業技術総合研究センター | 中里 |
| 11月30日 | 産業技術連携推進会議近畿地域部会情報・電子分科会研究交流会 | 大阪府立産業技術総合研究所 | マイドーム大阪 | 松本(哲)、伍賀 |
| 繊維工業技術支援センター | | | | |
| 4月14日 | 産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会近畿地域連絡会議 | ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会近畿地域連絡会 | 京都府織物・機械金属振興センター | 古谷 |

| 日 付 | 名称・事項 | 主催機関 | 会場・場所 | 担 当 者 |
|-----------------|---|--------------------------|--------------------------------|---------------------------|
| 4月23日 | | | 東京都立産業技術研究センター 墨田支所 | 有年 |
| 10月28日 | 産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会幹事会 | ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 | テクスピア大阪 | 有年 |
| 2月17日 | | | 東京都立産業技術研究センター 墨田支所 | 有年 |
| 6月3日 ～ 4日 | | | 産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会総会 | 愛媛県今治地域地場産業振興センター、(株)藤高 |
| 6月24日 ～25日 | 産業技術連携推進会議繊維分科会デザイン研究会 | 産業技術連携推進会議繊維分科会デザイン研究会 | 石川県工業試験場 | 古谷 |
| 7月12日 | 繊維技術交流プラザ実行委員会 | 大阪府産業技術総合研究所 | テクスピア大阪 | 東山 |
| 9月14日 | | | | |
| 10月20日 ～ 21日 | 産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会繊維試験法研究会 | ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会 | 繊維工業技術支援センター、播州織工業協同組合 | 有年、藤田、中野、東山 |
| 11月4日 | ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会繊維技術研究会 | 徳島県立工業技術センター | 徳島県立工業技術センター | 東山 |
| 11月12日 | 産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会近畿地域繊維担当者会議 | ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会近畿地域部会 | 工業技術センター | 有年、古谷、藤田、東山 |
| 皮革工業技術支援センター | | | | |
| 2月2日 | 公設皮革試験研究機関業務連絡会議 | 皮革工業技術支援センター | 皮革工業技術支援センター | 中川、森、原田(修)、佐伯(靖)、西森、松本(誠) |

8. 研究業務

8. 1 研究開発

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|--|--|-------------------------------------|
| 8. 1. 1 地域イノベーション創出研究開発事業（一般型） | | |
| 1 | プラズマチューブアレイを用いたフレキシブル紫外光源の研究開発 | 石原嗣生、泉 宏和 |
| 8. 1. 2 地域イノベーション創出研究開発事業（地域資源活用型） | | |
| 2 | 未利用海苔の醗酵による健康食品への利用技術の開発 | 吉岡秀樹、原田 修、吉田和利、井上守正 |
| 3 | 圧縮空気による糸結び技術を用いた新たな全自動部分整経機の研究開発 | 古谷 稔、有年雅敏、藤田浩行、中野恵之、原田知左子、東山幸央 |
| 8. 1. 3 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン） | | |
| 4 | ナノトルク自動制御を活用した「微細切削加工技術ノウハウ構築支援システム」開発 | 安東隆志、阿部 剛、平山明宏 |
| 5 | 高生産性・短納期対応・廃棄物削減を目指した整経システムの開発 | 古谷 稔、有年雅敏、藤田浩行、中野恵之、東山幸央、原田知左子、瀬川芳孝 |
| 6 | 刺繍織（スワイベル織）による無縫製織物ドレス実用化の研究開発 | 古谷 稔、有年雅敏、藤田浩行、中野恵之、東山幸央、原田知左子、瀬川芳孝 |
| 7 | ヒューマンスキルアシスト型注湯制御技術の開発 | 柏井茂雄、福住正文 |
| 8. 1. 4 中小企業等の研究開発力向上および実用化推進のための支援事業（近畿経済産業局） | | |
| 8 | 2次元近赤外線センサーを用いた高精度かつ低コストな人体の位置同定システムの実証 | 松本哲也、中本裕之、中里一茂、三浦久典 |
| 8. 1. 5 新エネルギーベンチャー技術革新事業（NEDO） | | |
| 9 | セルロース系繊維廃棄物からの省エネ型バイオエタノール製造技術開発 | 中野恵之、有年雅敏、古谷 稔、藤田浩行、東山幸央 |
| 8. 1. 6 科学研究費補助金・基盤C（日本学術振興会） | | |
| 10 | 電子デバイスの鉛フリーはんだ接合部の強度評価法に関する研究 | 野崎峰男 |
| 11 | 中温作動型SOFCへの適用を目指したアパタイト型固体電解質薄膜の高イオン伝導化 | 吉岡秀樹 |
| 12 | 紫外レーザー照射と大気圧プラズマ処理を併用したギガヘルツ帯プリント回路基板の開発 | 柴原正文、岸本 正 |
| 13 | 集積化化学システムのための多機能型弾性表面波アクチュエーターの提案 | 才木常正 |
| 14 | 身振り表現媒体としてのロボットデザイン | 後藤泰徳 |
| 8. 1. 7 科学研究費補助金・若手B（文部科学省） | | |
| 15 | 多指ハンド制御のための空間分解能が可変な分布触覚センサーとその決定方法 | 中本裕之 |

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|--|--|-------------------------|
| 8. 1. 8 (独)科学技術振興機構 研究成果最適展開支援事業 (A-STEP)ハイリスク挑戦 | | |
| 16 | 多機能集積型ホログラフィック光学素子を用いた3次元視線検出めがねの開発 | 瀧澤由佳子、北川洋一、松本哲也 三浦久典 |
| 8. 1. 9 (独)科学技術振興機構 研究成果最適展開支援事業 (A-STEP)FSステージ探索タイプ | | |
| 17 | 新規なメカニズムに基づく光機能性有機-無機ハイブリッド材料の作製に関する研究 | 石原マリ |
| 18 | 縫合技術を用いたカーボン複合糸から作製する高耐久性バネ材料の開発 | 藤田浩行 |
| 8. 1. 10 (独)科学技術振興機構 研究成果最適展開支援事業 (A-STEP)FSシーズ顕在化 | | |
| 19 | 外部磁気ノイズの影響を除去可能な高精度磁気式触覚センサの開発 | 中本裕之 |
| 8. 1. 11 (独)科学技術振興機構 地域ニーズ即応型 | | |
| 20 | 高精度織物読取装置の開発による糸配列検査システムの研究開発 | 古谷 稔、藤田浩行 |
| 21 | 超低被ばくデジタルX線撮像装置の製品化研究 | 熱田稔雄、平山明宏、福地雄介 |
| 22 | 簡易な褥瘡発生予測診断システムの実用化研究開発 | 熱田稔雄 |
| 23 | ロービジョン者生活支援めがねLVAG (Low Vision Assist Glasses) の開発 | 三浦久典、瀧澤由佳子、松本哲也 北川洋一 |
| 24 | レーザを利用した高機能リードフレーム連続加工技術の開発 | 山岸憲史 |
| 8. 1. 12 笹川科学研究助成 ((財)日本科学協会) | | |
| 25 | システムダイナミクスモデルを用いた環境の動態予測に関する研究 | 伍賀正典 |
| 8. 1. 13 産学インキュベート事業 | | |
| 26 | 離型剤フリーを目指した金型表面への窒化ホウ素膜形成に関する調査・研究 | 山下 満 |
| 27 | 初殻シリカを利用したシリカエアロゲルの製造に関する研究 | 原田 修 |
| 28 | カーボン複合糸から作製したバネ材材料の高機能化に関する調査研究 | 藤田浩行 |
| 29 | 粉体輸送用の超小型高効率アクチュエータの開発 | 才木常正 |
| 8. 1. 14 兵庫県COE | | |
| 30 | 環境に優しいクリーンバイオ繊維の開発 | 中野恵之 |
| 8. 1. 15 技術改善研究 | | |
| 31 | 表面ナノ構造制御によるゴム・高分子材料の撥水撥油性能の改善 | 本田幸司、鷺家洋彦、長谷朝博、 磯野禎三 |
| 32 | セルロースナノファイバーを強化材とした非石油系ナノコンポジットの開発 | 長谷朝博、鷺家洋彦、本田幸司、 磯野禎三 |

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|-----|-----------------------------------|--|
| 33 | チタン部材表面の高品位化に関する研究 | 山本章裕、山口 篤、阿部 剛、 浜口和也、高橋輝男、岸本 正、 福地雄介 |
| 34 | 多様な対象を把持可能なインテリジェントグリップ | 伍賀正典、中本裕之、三浦久典 |
| 35 | ニッケルめっき代替プロセスの開発に関する研究 | 園田 司、稲葉輝彦、山岸憲史、 山口 篤、西羅正芳、永本正義、 後藤浩二 |
| 36 | エレクトロスピンニング法を用いた糸表面加工技術および加工装置の開発 | 東山幸央、中野恵之、原田知左子 瀬川芳孝、古谷 稔、藤田浩行、 近藤みはる、有年雅敏 |
| 37 | 皮革の高堅ろう性染色技術の開発 | 松本 誠、西森昭人、佐伯 靖、 桑田 実、原田 修、森 勝、 中川和治 |

8. 1. 16 重点領域研究開発

| | | |
|----|-----------------------------------|--|
| 38 | 高耐食Sn-Fe-W 3元系合金薄膜の耐食性と表面構造に関する研究 | 福住正文、石原嗣生、柏井茂雄 |
| 39 | ラインレーザ変位計を用いた逐次多点形状測定法に関する研究 | 阿部 剛 |
| 40 | 清酒発酵経過に伴うアミノ酸類の消長と旨味に関する研究 | 井上守正、泉 恵、高岡栄子、 吉岡秀樹 |
| 41 | 自動外観検査システムの開発 | 中本裕之、松本哲也、三浦久典、 安東隆志 |
| 42 | エジプト綿を用いた播州織の試作に向けての調査及び研究 | 中野恵之、東山幸央、原田知左子 瀬川芳孝、古谷 稔、藤田浩行、 近藤みはる、有年雅敏 |
| 43 | シカ革の特性評価 | 佐伯 靖、西森昭人、松本 誠、 桑田 実、原田 修、森 勝、 中川和治 |
| 44 | 新エネルギーを利用した小型電源モジュールの高効率化の検討 | 中里一茂、三浦久典、松本哲也、 伍賀正典、北川洋一 |

8. 1. 17 経常研究

| | | |
|----|--------------------------------|----------------|
| 45 | 非鉛系酸化物薄膜の誘電特性に関する研究 | 泉 宏和 |
| 46 | 有機-無機ハイブリッド薄膜の光機能性素子への応用に関する研究 | 石原マリ |
| 47 | 視覚センサを利用した三次元計測システムの開発 | 金谷典武 |
| 48 | 衣服型人体動作入力装置のデザイン | 後藤泰徳 |
| 49 | 学習用人型ロボット教材のデザイン | 後藤泰徳 |
| 50 | 局所的多様性付与および表面処理による応力発光体の高輝度化 | 石原嗣生 |
| 51 | フッ素樹脂素材の接着性改善 | 柴原正文、本田幸司、長谷朝博 |
| 52 | 離型性を向上させる窒化ホウ素膜に関する研究 | 山下 満 |
| 53 | Sn-Fe-W3元系合金薄膜の耐食性と表面構造に関する研究 | 福住正文、石原嗣生 |
| 54 | 触感評価法を用いたゴム製グリップ開発手法の汎用性に関する研究 | 佐伯光哉 |

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|-----|---------------------------------|---------------------|
| 55 | 高熱伝導性材料に関する調査研究 | 鷲家洋彦 |
| 56 | 温熱水からの発電等のエネルギー回収に関する調査 | 安東隆志、阿部 剛、岸本 正、福地雄介 |
| 57 | マイクロ非球面金型の仕上げ加工に関する研究 | 浜口和也、平山明宏、福地雄介 |
| 58 | スマート材料のマイクロ切削加工技術に関する研究 | 平山明宏、浜口和也、福地雄介 |
| 59 | ユーザインタフェースの簡易な評価方法に関する研究 | 平田一郎 |
| 60 | ラインレーザによる高速オンマシン計測技術に関する研究 | 阿部 剛、安東隆志、浜口和也、福地雄介 |
| 61 | 麹の酵素力価が吟醸もろみの発酵経過に与える影響に関する研究 | 井上守正 |
| 62 | チオフェン系有機半導体材料を用いたデバイス作製条件に関する検討 | 平瀬龍二、吉岡秀樹、石原マリ |
| 63 | イオン液体を用いた電子顕微鏡観察試料作製法に関する調査研究 | 吉田和利 |
| 64 | 食品の安全性・機能性評価に関する研究 | 泉 恵、井上守正 |
| 65 | LEDを利用した照明機器の特性評価技術に関する調査研究 | 松本哲也 |
| 66 | 高周波帯での電磁波シールド特性評価に関する研究 | 中里一茂、三浦久典 |
| 67 | 磁気式触覚センサによる粘弾性評価に関する研究 | 中本裕之、伍賀正典 |
| 68 | 手工具などのUD製品開発のための上肢操作力の解析 | 稲葉輝彦、永本正義 |
| 69 | リードフレームめっきの評価技術に関する研究 | 山岸憲史 |
| 70 | 大出力ファイバーレーザによる厚板溶接技術の開発 | 山口 篤、後藤浩二 |
| 71 | 多様な素材に対応した先染複合織物の開発研究 | 古谷 稔、瀬川芳孝、近藤みはる |
| 72 | 整経工程におけるたて糸の巻取張力の評価に関する研究 | 藤田浩行、古谷 稔 |
| 73 | 温度差制御気化浸透法に適したエタノール分離膜の開発 | 中野恵之、東山幸央 |
| 74 | 商品化を目指した顔料染色技術の開発 | 瀬川芳孝、藤田浩行、東山幸央 |
| 75 | 革のはっ水加工に関する研究 | 森 勝、西森昭人 |
| 76 | 播州織物を利用した革小物の開発 | 佐伯 靖、西森昭人、桑田 実 |
| 77 | 印刷容易な表面特性を有する下地革および処理技術の開発 | 西森昭人、佐伯 靖 |

8. 1. 18 主な研究の結果概要

| 研究課題 | 結果概要 |
|---|---|
| <p><産業基盤受託研究事業> 地域イノベーション創出研究開発事業（一般型）</p> <p>（研究題目） プラズマチューブアレイを用いたフレキシブル紫外光源の研究開発</p> <p>近畿経済産業局からの委託事業 管理法人：(株)ユメックス</p> <p>平成21年度～22年度</p> | <p>（目的） プラズマチューブアレイはフレキシブルで大面積な光源として優れた技術であり、ディスプレイの用途のみならず、工業用・医療用・環境用の光源としても有望である。本研究では、プラズマチューブアレイと蛍光材料の技術、従来の水銀ランプの技術を融合させて、フレキシブルで大面積な紫外光源の実現を目指す。</p> <p>（結果） プラズマチューブアレイを利用した曲面型UV光源ユニットの評価・分析を行い、光量や均一性などの特性評価を行った。プラズマチューブアレイを用いたナローバンドUVB治療器を試作し、Green Device2010展示会に出展した。</p> <p>（活用等） 新規の高輝度紫外蛍光体と紫外線照射装置を開発することができたが、これらについては、今後、更に研究開発を進め、市場への展開を図っていく。</p> |
| <p><産業基盤受託研究事業> 地域イノベーション創出研究開発事業（地域資源活用型）</p> <p>（研究題目） 未利用海苔の醗酵による健康食品への利用技術の開発</p> <p>近畿経済産業局からの委託事業 管理法人：(財)新産業創造研究機構</p> <p>平成21年度～22年度</p> | <p>（目的） 商品価値の低い規格外海苔（色落ち海苔）に含まれる有効成分を効率よく抽出し、なおかつ醗酵によって体に吸収されやすい成分に処理する技術を開発することで、健康食品として商品価値の高い魅力的な新規食素材を得ることを目的とする。</p> <p>（結果） 規格外海苔の酵母・麹など有用微生物による醗酵物の機能性評価を行った結果、中性脂質の代謝改善効果が動物レベルで確認され、さらにヒト皮膚細胞に対する賦活効果が確認された。また、醗酵海苔の安全性評価を行ったところ、変異原性は見られず安全であることが確認できた。</p> <p>（活用等） 規格外海苔の醗酵物は健康食品素材および機能性化粧品素材としての活用が期待される。</p> |
| <p><産業基盤受託研究事業> 戦略的基盤技術高度化支援事業</p> <p>（研究題目） ナノトルク自動制御を活用した「微細切削加工技術ノウハウ構築支援システム」開発</p> <p>近畿経済産業局からの委託事業 管理法人：(財)大阪産業振興機構</p> <p>平成20年度～22年度</p> | <p>（目的） 携帯型情報家電など微細、精密、高品質が求められる微細金型製造技術の高度化には、切削中の微細トルク計測技術と、加工条件を数値化するシステムが求められている。しかし、微細領域加工では加工条件の計測技術やデータベース化技術が確立されていない。本研究では「磁気浮上テーブル」を用いて「ナノトルク自動制御加工技術」の確立と「微細切削加工技術ノウハウ構築支援システム」の開発により微細加工技術の高度化を目指す。</p> <p>（結果） レーザー変位計を使用した磁気浮上システムの製作と、同システムによる微小トルクの計測とカメラによる刃先位置検出により、直径30μmのドリル1本で961の穴加工が可能となった。</p> <p>（活用等） 一般の工作機械であっても、事前に振れまわりを調べ、回転数や送り条件などの加工条件を適切に設定すれば、マイクロドリル加工が可能である。</p> |
| <p><産業基盤受託研究事業> 戦略的基盤技術高度化支援事業</p> <p>（研究題目） 高生産性・短納期対応・廃棄物削減を目指した整経システムの開発</p> <p>近畿経済産業局からの委託事業 管理法人：(財)新産業創造研究機構</p> <p>平成22年度～23年度</p> | <p>（目的） 従来連動していない「整経準備工程と整経工程」の連動システムを開発することにより、デザイン・機能の広がりがあり、高生産性・短納期を達成し、作業中のミスが防止できる全自動整経機を開発する。</p> <p>（結果） アレンジワインダーでの巻き糸個別管理技術の構築および一般繊維とフィラメント加工糸とを繋ぐ技術開発を行った。また、管理用ソフトウェアの開発とICタグセンサーのよる管理技術および糸繋ぎ技術についても一定の成果を得た。</p> <p>（活用等） 本テーマは、次年度にも研究開発を継続するものであり、全体の研究開発の中で活用できる技術が開発できた。次年度に全体システムを構築し、その中で活用する。</p> |

| 研究課題 | 結果概要 |
|---|--|
| <p><産業基盤受託研究事業> 新エネルギーベンチャー技術革新事業</p> <p>(研究題目) セルロース系繊維廃棄物からの省エネ型バイオエタノール製造技術開発</p> <p>新エネルギー・産業技術総合開発機構からの委託事業</p> <p>平成22年度～24年度</p> | <p>(目的) ポリエチレンテレフタレート (PET) の粒体集積シートを作成した。分離膜の撥水性を高めるために、シリカ系撥水剤を用いて撥水性を付与した分離膜の試作も行った。さらに、分離膜の多孔の内径を調整するために、製膜後にプレス処理も行った。その結果、より細孔な試作膜の調整が可能となった。</p> <p>(結果) 市販分離膜に対して、エレクトロスピンニング法で試作した分離膜は、膜内の空隙率が高い。この繊維集合体のフェルトをプレスすることで、細孔サイズを制御した膜が試作できた。また、分離膜内の細孔は理論的に撥水性が高いことが望まれる。これはシリカ系撥水剤の付与で解決した。</p> <p>(活用等) 現在、フェーズAの探索研究の段階であるが、この研究成果をもとにフェーズBの開発研究に進めるように準備する。これらの活動から、播州織産地における実用化を目指す。</p> |
| <p><科学研究費補助金事業></p> <p>(研究題目) 身振り表現媒体としてのロボットデザイン</p> <p>日本学術振興会からの委託事業</p> <p>平成22年度～24年度</p> | <p>(目的) 研究の全体構想は、身振り表現の媒体として、遣い手による直感的な振り付けが可能な等身大の人型ロボットを開発することである。最終的には今様文楽人形として、制御知識のない人でも簡単に扱えるようにすることで、ロボットによる身振り表現を目指している。</p> <p>(結果) 粘土製オブジェを手でこねてアニメーションを作るクレイアニメのように、遣い手が直接ロボットの各関節を任意に動かした後、ロボットがその動きを再現することにより、ロボットに対する制御知識がなくても、振り付けることができるシステム構築を目指した。そこで、まず各関節を駆動するアクチュエータと駆動制御部をコンパクトな形状として一体化した機電一体型モジュールを開発した。また、この制御システムを組み込むための木製ロボットフレームを開発した。このフレームは単独でも自立するようデザインした。</p> <p>(活用等) 次年度は、このロボットに対し造形表現や振り付けを進め、アミューズメントに用いる身振り表現媒体としてのロボットとしての完成を目指す。</p> |
| <p><科学研究費補助金事業></p> <p>(研究題目) 中温作動型SOFCへの適用を目指したアパタイト型固体電解質薄膜の高イオン伝導化</p> <p>日本学術振興会からの委託事業</p> <p>平成20年度～22年度</p> | <p>(目的) 溶射法およびスパッタリング法によりアパタイト型ランタンシリケート薄膜を作製し、成膜条件や基板材料の検討により膜のイオン伝導度を高め、中温作動型SOFC用電解質としての適用を図る。</p> <p>(結果) 基板の組成、形状、溶射条件を検討することにより、負極支持型SOFCの出力を高めることができた。スパッタリングでは、成膜中のプラズマガスの種類や圧力により熱処理後にアパタイト型相が結晶化する条件を見出した。</p> <p>(活用等) 中温作動型SOFCの開発に向けて、企業と共同でJST等への研究提案を行う。</p> |
| <p><産業基盤受託研究事業> 研究成果最適展開支援事業(A-STEP)</p> <p>(研究題目) 新規なメカニズムに基づく光機能性有機-無機ハイブリッド材料の作製に関する研究</p> <p>科学技術振興機構からの委託事業</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) 当センターでは、通常は光応答性を示さないシアニン色素（有機色素の一種）に光応答性を誘起できることを初めて見出し、この2成分系有機-無機ハイブリッド薄膜を新タイプの光機能性素子用材料として提案している。本研究では、創製した2成分系有機-無機ハイブリッド薄膜に光応答性が発現するメカニズムの解明、複合化により光応答性が発現する材料の設計指針を見出し、実用化レベルの材料開発に必要な基盤技術の構築を目的とする。</p> <p>(結果) 種々の有機色素と無機化合物を複合化して薄膜を作製し、その光応答性および構造を検討することにより、作製した薄膜の光応答性と構造との相関について知見を得た。</p> <p>(活用等) 光メモリ、センサなどへの活用を目指す。特許出願準備中。</p> |

| 研究課題 | 結果概要 |
|--|--|
| <p><産業基盤受託研究事業> 研究成果最適展開支援事業(A-STEP)</p> <p>(研究題目) 外部磁気ノイズの影響を除去可能な高精度磁気式触覚センサの開発</p> <p>科学技術振興機構からの委託事業 平成22年度～23年度</p> | <p>(目的) 力とすべりを同時に計測できること、人間の皮膚と同様に柔軟に対象物と接触できること、安価で耐久性が高いことが特長の磁気式触覚センサをシーズ候補として、外部磁気の除去方法や内的要因で発生する誤差の検出方法、構成部材の1つである柔軟素材の検討の3つの課題に取り組む。</p> <p>(結果) 工技センターは外部磁気の除去方法の確立を担当し、触覚センサが計測時に位置姿勢を変化させない条件で、除去できることを確認した。</p> <p>(活用等) 共同研究者であるビー・エル・オートテック(株)から実用化する。また、このセンサを応用した技術支援等を行う。</p> |
| <p><産業基盤受託研究事業> 地域イノベーション創出総合支援事業・地域ニーズ即応型</p> <p>(研究題目) 超低被ばくデジタルX線撮像装置の製品化研究</p> <p>科学技術振興機構からの委託事業 平成21年度～22年度</p> | <p>(目的) 本研究ではX線被ばく量を従来の約100分の1(単純X線撮像装置との比較)に低減できるLDX方式のX線撮像装置をベースとして、1回の撮像で全身のX線CTデジタルデータを取得可能な、救急医療診断用を含め、人体用または工業用の超低被ばくX線CT撮像装置の基本設計の確立を目指す。また本装置が完成後の事業化計画もまとめる。</p> <p>(結果) 本プロジェクトの取り纏めと同時に、わが国で唯一のLDX方式X線撮像装置(試作機)を保有していることから、本装置を活用した新分野に向けた超低被ばくX線CT撮像装置の最適設計支援を実施した。特に、医療用として、神戸大学病院等からのニーズに基づき、Ai(Autopsy imaging:死亡時画像診断)用の装置の基本設計を行った。</p> <p>(活用等) 得られた成果は、研究報告書等の広報誌で公知するとともに、研究発表会で報告し、企業との共同研究等に結びつける。</p> |
| <p><産業基盤受託研究事業> 地域イノベーション創出総合支援事業・地域ニーズ即応型</p> <p>(研究題目) ロービジョン者生活支援めがねLVAG(Low Vision Assist Glasses)の開発</p> <p>科学技術振興機構からの委託事業 平成21年度～22年度</p> | <p>(目的) ロービジョン者は全盲ではないが、日常生活に支障のある視力障害者である。本事業では、ロービジョン者の夜間の歩行を支援するため、ロービジョン者が見やすい画像提示するディスプレイ、障害物検出装置を搭載しためがね型の装置を開発する。</p> <p>(結果) 昨年度構築した表示機能と障害物検出機能を検証するための機能検証モデルを改良して、実証実験モデルを構築した。ロービジョン者を対象とした実験を行ったところ、低照度環境下で歩道の白線が見えやすくなることがわかった。また、段差や前方障害物を検出する機能も開発できた。</p> <p>(活用等) 参画機関である企業が、本研究の成果をもとにロービジョン者生活支援めがねとして、製品化に取り組む予定である。</p> |
| <p><重点領域研究推進事業></p> <p>(研究題目) 新エネルギーを利用した小型電源モジュールの高効率化の検討</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) 新エネルギーである太陽電池ならびに風力発電機で発電された電力を高効率にリチウムイオン電池に充電する小型電源モジュールを開発するために、電源モジュールに最大電力を得られる新機能と高効率な充電システムを搭載し、その特性を評価する。</p> <p>(結果) 新機能を組み込んだ充電システムを製作し、電力計によりシステム効率(充電電力/発電電力)を評価した。その結果、ほぼ設計効率(80%)どおりの値を得ることができた。</p> <p>(活用等) 今後、機器構成の見直しにより更に高効率化を目指すとともに、太陽電池と風力発電を統合し1台のバッテリーに充電できるシステムの開発を行う。</p> |

| 研究課題 | 結果概要 |
|--|---|
| <p><重点領域研究推進事業></p> <p>(研究題目) 高耐食Sn-Fe-W三元系合金薄膜の耐食性と表面構造に関する研究</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) これまで表面処理には有害な物質が多く使用されてきた。しかし、最近の環境意識の高まりから、これら有害物質を使用しない、もしくは環境に負荷を与えない水準まで使用量を低減させる新たな表面処理技術が求められている。本研究では、成膜組成を容易に制御でき、さらにめっき法に比べて廃液が無く環境に優しいスパッタリング法を用いた高耐食性Sn-Fe-W三元系合金薄膜の開発を行った。</p> <p>(結果) スズ、鉄、タングステン粉末を混合、成形したものをターゲットとし、ターゲット組成、スパッタリング条件を調整することでタングステン濃度が2～22wt.%となるターゲットを作製し、Si基板上にスパッタリング法を用いて成膜を行った。Sn-Fe-W三元系合金薄膜を0.1N硫酸溶液中、および0.1N塩酸溶液中でアノード分極曲線測定による耐食性評価を行った結果、膜厚1μmで硫酸溶液中ではSUS304を超える耐食性を有し、塩酸溶液中ではSUS304には見られない不動態皮膜を形成し高耐食性薄膜となった。また、特許出願を行った。</p> <p>(活用等) 得られた知見から特許出願(特願2011-66091)を行った。今後は企業との共同研究に取り組んでいく。</p> |
| <p><重点領域研究推進事業></p> <p>(研究題目) 自動外観検査システムの開発</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) 自動外観検査システムを開発する。主にレーザー変位計とビジョンセンサ、コンピュータを組み合わせた装置とすることで、計測から信号処理まで一貫した検査の試行を可能とし、企業の自動外観検査のニーズに対して即時対応が可能な態勢を整える。</p> <p>(結果) レーザー変位計とビジョンセンサ、照明、コンピュータを組み合わせた自動外観検査システムを設計・製作した。チップソーを例とし、その自動外観検査の可能性と具体的な方法を示した。</p> <p>(活用等) 外観検査に関する相談・指導・共同研究業務に活用する。</p> |
| <p><重点領域研究推進事業></p> <p>(研究題目) シカ革の特性評価</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) 県下企業のシカ革商品化において、シカ革の特性等の情報が必要であり、シカ革の特性評価を行う。</p> <p>(結果) シカ革の特性として高い吸水性と吸放湿性が明らかとなった。県下の製革企業には靴用、袋物用、衣料用と多様な鞣しが有るため、今後、各用途革の商品化に必要な二次加工技術が必要である。</p> <p>(活用等) 研究成果の活用方法として、製革企業、革製品企業などによるニホンシカ革製品の地産地消による地域の活性化を目指す。</p> |
| <p><技術改善研究></p> <p>(研究題目) セルロースナノファイバーを強化材とした非石油系ナノコンポジットの開発</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) バイオマス素材であるセルロースのナノファイバーを少量充てんすることにより、従来フィラー以上の母材の高強度化が見込める。これまでの研究において、高強度化のためにはナノファイバーの形状最適化、分散性の向上等の課題があることがわかったことから、それらを課題するため本研究に取り組んだ。</p> <p>(結果) ディスクミルで作製したセルロースナノファイバーをボールミルを用いて機械的粉砕を行うことにより、アスペクト比の小さいナノファイバーが得られた。得られたナノファイバーをホモジナイザーで天然ゴムラテックス中に攪拌混合することにより、ナノファイバーの分散性向上を図ることができた。</p> <p>(活用等) 本研究で得られた知見をもとに、ゴム製品製造業との共同研究を行った。今後はナノコンポジットの更なる高性能化に取り組み、関連業界への技術移転を目指す。</p> |

| 研究課題 | 結果概要 |
|--|---|
| <p><技術改善研究></p> <p>(研究題目) ニッケルめっき代替プロセスの開発に関する研究</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) 装飾用めっき皮膜としてニッケルめっきが利用されているが、ニッケルアレルギーの原因となるため、ニッケル代替めっきプロセスを開発する。</p> <p>(結果) ニッケルめっき皮膜に匹敵する耐食性、機械的特性の得られる光沢スズー鉄合金めっき皮膜を作製するための浴組成およびめっき条件を確立した。</p> <p>(活用等) ニッケルアレルギー対策用めっき皮膜としてスズー鉄合金めっき皮膜を適用することにより、人と環境に優しいめっきプロセスとしてめっき業界における新市場の開拓に貢献する。</p> |
| <p><技術改善研究></p> <p>(研究題目) 皮革の高堅ろう性染色技術の開発</p> <p>平成22年度</p> | <p>(目的) 皮革製造業者が直面している問題として、まず色落ちの問題があげられる。皮革に関するクレームでは色落ちに関するクレームの割合が大きい。仕上げ工程において厚塗りをすれば、銀面からの色落ちを防ぐことができるが、それでは天然皮革の特色である手触りを損ない、商品価値が低下する。また、断面、肉面側からの色落ちも重要な問題であるが、仕上げでは防げない。そこで、色落ちを嫌う消費者のニーズに対応して、染料の固着性を上げた高堅牢度革の製造の開発を行った。</p> <p>(結果) 浸透染色した革の堅ろう性向上技術を検討した。固着性を上げるべく90℃以上での熱処理などを試みたが、アルカリ処理－酸処理後60℃での熱処理で堅ろう性（特に湿潤摩擦）が向上できた。</p> <p>(活用等) 本研究で得られた知見を基に実用化を推進していく予定である。得られた成果を基に、県下の製革企業と技術指導を通じて皮革の高堅ろう性染色技術の普及と、技術移転を図る。</p> |

8. 2 共同研究等

8. 2. 1 共同研究

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|----------|---|-------------------------------|
| 技術企画部 | | |
| 1 | スパッタリング法による酸化物薄膜の形成に関する研究 | 泉 宏和、福住正文、石原嗣生、柏井茂雄 |
| 技術支援部 | | |
| 2 | トンネル換気制御システムの電気・磁気ノイズの測定と評価 | 金谷典武、三浦久典、松本哲也 |
| 3 | 視覚センサを利用した三次元位置検出技術の高度化に関する研究 | 金谷典武、中里一茂、三浦久典 |
| 4 | 鉄道車両用電子機器の電磁波耐性技術に関する研究 | 金谷典武、中里一茂、松本哲也、三浦久典 |
| 材料技術部 | | |
| 5 | 大気圧プラズマ応用に関する研究 | 柴原正文 |
| 6 | 難燃性・耐摩耗性ゴム材料の製品化に向けた材料検討 | 鷲家洋彦、長谷朝博、磯野禎三、柏井茂雄 |
| 7 | 淡路瓦の品質安定性向上に関する研究 | 柴原正文、福住正文、石原嗣生、柏井茂雄、泉 宏和 |
| 8 | ①完全充填電動制御スリーブ式ダイカスト装置及び鋳造支援ソフト販売 ②高品質・高精度ダイカスト製品の受注と生産 | 柏井茂雄、兼吉高宏 |
| 9 | 「リン光灯」デバイスの開発 | 石原嗣生、柴原正文、柏井茂雄、泉 宏和 |
| 10 | 珪藻土の有機高分子材料に対する機能の把握 | 鷲家洋彦、長谷朝博、磯野禎三 |
| 11 | プラズマ重合膜の性能改善と用途検討 | 磯野禎三、本田幸司、森 勝 |
| 12 | 太陽電池用材料における反応過程の詳細調査 | 柏井茂雄、福住正文、兼吉高宏 |
| 13 | セルローズナノファイバーの作製及びゴム配合時の物性への影響に関する研究 | 長谷朝博、本田幸司、鷲家洋彦、磯野禎三 |
| 14 | 高速成膜した窒化ホウ素コート膜の物性評価と切削性能評価 | 山下 満、福住正文、浜口和也、平山明宏、石原マリ、柏井茂雄 |
| 15 | 水銀フリー深紫外光源用材料の構造評価 | 石原嗣生、泉 宏和 |
| 16 | 高分子樹脂の接着性改善 | 柴原正文、本田幸司、長谷朝博 |
| 17 | 太陽電池用材料における反応過程の詳細調査 | 柏井茂雄、福住正文、兼吉高宏 |
| 18 | パネル用積層フィルム材の保存環境の影響に関する研究 | 佐伯光哉、本田幸司、磯野禎三 |
| ものづくり開発部 | | |
| 19 | 給湯器リモコンの操作性検証およびリモコン設計指針に関する研究 | 平田一郎、岸本 正、福地雄介、後藤泰徳 |
| 20 | 異種材料間における接合部評価方法の構築に関する研究 | 浜口和也、平山明宏、有年雅敏、福地雄介 |

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|-----|----------------------------------|-------------------------------|
| 21 | ランドセル評価のためのマネキン姿勢に関する研究 | 平田一郎、中本裕之、浜口和也、岸本 正、福地雄介 |
| 22 | 接合技術に対する評価 | 安東隆志、福地雄介、阿部 剛、平山明宏、青木俊憲 |
| 23 | 金属製品の製造条件と製品強度の関係について | 高橋輝男、青木俊憲、福地雄介 |
| 24 | ヒューマンデザインテクノロジーに基づくGUI設計手法の検討 | 平田一郎 |
| 25 | 高熱伝導性炭素材料/銅接合材料の品質評価に関する研究 | 浜口和也、平山明宏、阿部 剛、福地雄介、野崎峰男、山口 篤 |
| 26 | 高速回転時におけるマイクロボールエンドミルの摩耗特性に関する研究 | 浜口和也 |
| 27 | ステンレス鋼の小径穴加工に関する研究 | 浜口和也、福地雄介 |
| 28 | キャストロイベースのポーラス化鋳鉄铸件への実験 | 青木俊憲、高橋輝男、福地雄介 |
| 29 | 金属材料の腐食による製品への影響について | 高橋輝男、青木俊憲、福地雄介 |
| 30 | 炭素-銅複合材の接合部評価 | 浜口和也、平山明宏、福地雄介、野崎峰男 |

環境・バイオ部

| | | |
|----|-----------------------------------|--------------------------------|
| 31 | 発酵食品副産物からの機能性物質生産技術の開発 | 吉田和利、井上守正、吉岡秀樹 |
| 32 | 水先人の行動解析に関する基礎研究 | 才木常正 |
| 33 | 中小船舶用エコ型高効率発電システムの耐久性に関する研究 | 才木常正、吉岡秀樹 |
| 34 | 圧電薄膜を利用したMEMSセンサとその対応に関する研究 | 才木常正、吉岡秀樹、福住正文、瀧澤由佳子 |
| 35 | 産地の違いとコメ質の関係に関する研究 | 井上守正、泉 恵、吉岡秀樹 |
| 36 | B D F 製造条件の高度化に関する研究 | 井上守正、平瀬龍二、泉 恵、高岡栄子、吉岡秀樹 |
| 37 | 燃料電池電解質の高性能電極/電解質界面の設計 | 吉岡秀樹 |
| 38 | 線香タール分の分析技術に関する研究 | 井上守正、泉 恵、高岡栄子、吉岡秀樹 |
| 39 | 新規調味料の開発 | 井上守正、泉 恵、高岡栄子、吉岡秀樹 |
| 40 | 食品用新規塩素製剤の開発 | 井上守正、泉 恵、吉岡秀樹 |
| 41 | 廃水処理用新規凝集剤の性能評価技術に関する研究 | 井上守正、杉本 太、平瀬龍二、原田知左子、高岡栄子、吉岡秀樹 |
| 42 | 集積化化学システムのための多機能型弾性表面波アクチュエーターの提案 | 才木常正 |
| 43 | 製品から発生する揮発性成分分析技術に関する研究 | 井上守正、吉田和利、泉 恵、吉岡秀樹 |

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|-----|------------------------------|--------------------|
| 44 | ナノカーボン材料の合成条件と基礎物性との相関に関する研究 | 平瀬龍二、吉岡秀樹 |
| 45 | 生薬成分の抗アレルギー活性成分の分析に関する研究 | 吉田和利、泉 恵 |
| 46 | 生薬の成分分析および品質管理に関する研究 | 吉田和利、井上守正 |
| 47 | 廃ガラス粉末及びカレットの用途開発 | 吉岡秀樹、井上守正、高岡栄子 |
| 48 | 食品抽出装置の開発 | 井上守正、泉 恵、吉田和利、吉岡秀樹 |
| 49 | 高品質清酒の製造技術に関する調査研究 | 井上守正、平瀬龍二、泉 恵、吉岡秀樹 |

情報技術部

| | | |
|----|-------------------------------------|------------------------------------|
| 50 | 電力線ノイズフィルタの電力ロス改善効果の評価検討 | 中里一茂、北村新三、瀧澤由佳子、北川洋一、佐伯光哉 |
| 51 | 磁気式触覚センサの小型化と高感度化に関する研究 | 中本裕之、三浦久典、伍賀正典 |
| 52 | チャンバー付き医療用微細針の形成条件の検討 | 三浦久典、富田友樹、長谷朝博、阿部 剛、平山明宏 |
| 53 | 新燃焼方式による動力計を用いた燃焼室内燃焼現象の挙動解明 | 三浦久典、富田友樹、柴原正文、山下 満、本田幸司、浜口和也、井上守正 |
| 54 | 物体操作時の小型ロボットハンド用分布型触感センサの信号処理に関する研究 | 中本裕之、三浦久典、伍賀正典 |
| 55 | 産業用機器の雑音耐性技術に関する研究 | 松本哲也、中里一茂、金谷典武 |
| 56 | 産業用電子機器の長期課電耐圧評価に関する研究 | 中里一茂、三浦久典、松本哲也、瀧澤由佳子 |
| 57 | 独創的な設計を支援するためのシステム構築に関する研究 | 伍賀正典、三浦久典 |
| 58 | ダミーロボットの衝撃検出のためのセンサシステムに関する研究 | 伍賀正典、三浦久典、中本裕之 |
| 59 | 自動ドア用電子部品の電磁波ノイズ特性向上に関する研究 | 三浦久典、松本哲也、中里一茂、金谷典武 |
| 60 | チャンバー付き医療用微細針の最適射出パラメータの検討・評価 | 三浦久典、富田友樹、長谷朝博、阿部 剛、平山明宏 |
| 61 | 新エネルギー電源モジュール効率の評価検討 | 中里一茂、松井繁朋、三浦久典、伍賀正典、北川洋一 |
| 62 | リハビリ機器における人間の腕の動作モニタリングに関する研究 | 中本裕之、三浦久典、伍賀正典 |
| 63 | FPGAによる触覚センサの制御とセンサ信号処理 | 中本裕之、三浦久典 |
| 64 | 外部磁気ノイズの影響を除去可能な高精度磁気式触覚センサの開発 | 中本裕之 |
| 65 | 光干渉を利用したチップソーの振動特性可視化技術に関する研究 | 松本哲也、三浦久典、瀧澤由佳子、中本裕之 |

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|----------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 機械金属工業技術支援センター | | |
| 66 | 品質向上のための製造工程改善に関する研究 | 山口 篤、山岸憲史、永本正義、稲葉輝彦 |
| 67 | 「レーザーを利用した高機能リードフレーム連続加工技術の開発」 | 山岸憲史 |
| 68 | 高張力鋼へのめっきプロセスに関する研究 | 園田 司、山口 篤、西羅正芳 |
| 69 | 濃厚塩化ナトリウム溶液中における各種ステンレス鋼の耐食性評価 | 山岸憲史、山口 篤、西羅正芳、園田 司、後藤浩二 |
| 70 | 踏み台の構造と強度との関係に関する研究 | 稲葉輝彦、後藤浩二 |
| 71 | 角度変更が可能な新しい長尺電動バリカンの開発 | 永本正義、山岸憲史、後藤浩二 |
| 72 | 高性能手引き鋸の評価試験機開発に関する研究 | 稲葉輝彦、後藤浩二、山口 篤 |
| 繊維工業技術支援センター | | |
| 73 | 高生産性、短納期対応、廃棄物削減を目指した整経システムの開発 | 古谷 稔 |
| 74 | 播州固有の変織技法による世界初の無縫製ドレスの研究開発 | 古谷 稔 |
| 75 | 新規な炭素繊維の試作と用途開発 | 中野恵之、東山幸央、藤田浩行 |
| 76 | エレクトロスピンニング法による合織の紡糸技術の開発 | 中野恵之、東山幸央、瀬川芳孝、古谷 稔 |
| 77 | 縫合技術を用いた複合糸からなる織物強化複合材料の製作と用途開発に関する研究 | 藤田浩行、古谷 稔 |
| 78 | 損傷毛髪保護剤の性能評価に関する研究 | 東山幸央、藤田浩行、中野恵之、瀬川芳孝、古谷 稔 |
| 79 | ラメ糸織物のデザイン創作とファッションデザイン創作毛研究 | 古谷 稔、東山幸央、中野恵之 |
| 皮革工業技術支援センター | | |
| 80 | 革のかちん染め(藍染め)技術の確立とその商品開発 | 桑田 実、西森昭人、原田 修 |
| 81 | 兵庫レザーを使用したファッショングッズデザインの創作研究 | 桑田 実、西森昭人、佐伯 靖、森 勝 |
| 82 | 薬品廃棄物(滅菌済みの兎の皮)のタンパク資源としての活用 | 原田 修、中川和治 |
| 83 | 亜臨界水を利用する重合体の分解処理装置の開発と改良 | 原田 修、泉 恵 |
| 84 | 非クロム鞣しによる新素材の開発 | 中川和治、森 勝、原田 修、佐伯 靖、西森昭人、松本 誠、桑田 実 |
| 85 | 環境対応革開発実用化に関する調査、研究 | 原田 修、中川和治、森 勝、佐伯 靖、西森昭人、松本 誠、桑田 実 |
| 86 | 皮革の高品質化に関する研究 | 原田 修、西森昭人、佐伯 靖、松本 誠、桑田 実、森 勝、中川和治 |

8. 2. 2 受託研究

| No. | 研究課題 | 担当者 |
|--------------|---|-------------------------------|
| 技術企画部 | | |
| 1 | Mg-Li合金の介在物評価に関する研究 | 山田和俊、石原嗣生、山下 満、福住正文、岸本 正、山本章裕 |
| 技術支援部 | | |
| 2 | アキュムレータ（蓄圧器）材の品質管理に関する研究 | 野崎峰男、石原マリ、北川洋一 |
| 材料技術部 | | |
| 3 | 切削工具用全自動c-BN膜形成装置の膜特性についての安定性評価 | 山下 満、浜口和也、平山明宏、石原マリ、高橋輝男 |
| ものづくり開発部 | | |
| 4 | セラミックスの弾性率測定 | 浜口和也、平山明宏、福地雄介 |
| 環境・バイオ部 | | |
| 5 | 二段醗酵酒パウダーの安全性 | 吉田和利 |
| 情報技術部 | | |
| 6 | 組み電池の品質評価に関する研究 | 三浦久典、中里一茂 |
| 7 | 組み電池の不具合品に関する安全性評価 | |
| 8 | 組み電池の安全性に関わる機械的負荷による検討 | |
| 繊維工業技術支援センター | | |
| 9 | 衣料生活資材関係における再現性のある多色緋・斑染めの研究開発におけるカスリ染織糸を使ったデザイン・織物規格を組み合わせた試作品作成、テキスタイルデザイン研究と評価 | 古谷 稔、東山幸央、瀬川芳孝 |

8. 2. 3 テクノトライアル

| No. | 希望成果物等 | 担当者 |
|-------|---------------------------|------|
| 技術企画部 | | |
| 1 | 有機高分子基盤上の金属格子パターンの電子特性データ | 泉 宏和 |
| 材料技術部 | | |
| 2 | ゴム混練機で製作したゴム複合体およびその物性データ | 鷲家洋彦 |
| 3 | 分析値 | 柏井茂雄 |
| 4 | ICPによる成分変化の分析 | |
| 5 | 破面SEM像、金属組織、硬さ分析 | 福住正文 |
| 6 | 表面のSEM像現象と付着物の分析 | |
| 7 | ギアの成分分析 | |
| 8 | 歯車カバーの成分分析 | 福住正文 |
| 9 | 油分の蛍光スペクトルデータ | 石原嗣生 |

| No. | 希望成果物等 | 担 当 者 |
|----------|---|----------------|
| 10 | 欠陥観察写真、材料分析結果 | 柏井茂雄 |
| 11 | I C P、蛍光エックス線等の分析結果 | 柏井茂雄、山下 満 |
| 12 | 酸化物薄膜、膜の結晶性評価 | 福住正文、石原嗣生 |
| 13 | 瓦の日射反射率データ | 石原嗣生 |
| 14 | 金属組織写真、硬さ分布 | 福住正文 |
| 15 | 耐熱耐久性評価を行ったサンプル | 磯野禎三 |
| 16 | 酸化物薄膜、膜厚分布評価 | 福住正文 |
| 17 | データ(D S Cカーブ、曲げ強さ) | 鷲家洋彦 |
| 18 | 化学分析データ | 柴原正文、本田幸司 |
| 19 | シリコンゴム成形体 | 鷲家洋彦 |
| 20 | マイクロスプーンの分析 | 福住正文 |
| 21 | 分析結果 | 山下 満 |
| 22 | 靴用化粧箱表面の摩擦特性データ | 佐伯光哉 |
| 23 | 環境試験装置の設定温度と測定温度データ | |
| ものづくり開発部 | | |
| 24 | 異物の成分分析結果 | 平山明宏 |
| 25 | 界面強度データ | 浜口和也、平山明宏 |
| 26 | 金属組織写真 | 高橋輝男 |
| 27 | 金属組織写真、表面SEM像硬さ測定結果 | |
| 28 | ロウ付け部のX線投資画像 | 浜口和也、平山明宏 |
| 29 | 従来品と対応品のはさみについて切断時におきる反力の比較 | 岸本 正、山本章裕 |
| 30 | 切断・研磨した高熱伝導性炭素材料 | 浜口和也 |
| 31 | 金属組成写真、破面SEM像、マイクロビッカース硬さ測定 | 高橋輝男 |
| 32 | 金属組織写真 | |
| 33 | 切断、研磨した高熱電造性炭素/樹脂複合材料 | 浜口和也、平山明宏 |
| 34 | 金属組織写真 | 高橋輝男 |
| 35 | 金属組織写真、破面SEM像、硬さ測定結果 | 高橋輝男、青木俊憲 |
| 36 | 従来型と改善型に対して、振動センサーにより振動伝導特性を測定し、両者の振動伝導特性の差異を検証 | 安東隆志 |
| 37 | 研磨した高熱伝導性炭素材料の平均表面粗さ | 浜口和也 |
| 38 | 野球バットの非破壊画像 | 平山明宏 |
| 39 | ピン先端部のデジタルマイクロスコープ画像 | |
| 40 | SEM画像、SEM-EDX分析結果、報告書 | 高橋輝男、平山明宏、青木俊憲 |
| 41 | デジタルマイクロスコープの画像 | 平山明宏 |

| No. | 希望成果物等 | 担 当 者 |
|----------------|--|-----------|
| 42 | SEM写真、SEM-EDX分析結果、報告書 | 高橋輝男 |
| 43 | 高熱伝導性炭素材料の引張強度データ | 浜口和也 |
| 44 | 小径穴を有するSUS板 | |
| 45 | タングステン合金と純タングステンとの接合材料 | |
| 46 | SEM金属組織写真 | 高橋輝男 |
| 47 | SEM写真、金属顕微鏡組織写真 | |
| 48 | 破面SEM観察結果、金属組織観察結果、硬さ測定結果 | |
| 49 | 金属顕微鏡組織写真、SEM写真およびEDX分析結果、硬さ測定結果 | |
| 50 | マクロ写真、金属組織観察、断面硬度分布測定結果、平面および破面SEM像写真 | |
| 51 | 硬さ測定結果、金属顕微鏡組織写真 | 浜口和也 |
| 52 | 電磁コイルの内部構造を表示させたX線透過画像 | |
| 53 | 樹脂成型品の断面画像 | |
| 54 | センサの内部構造を表示されたX線透視画像 | 平山明宏 |
| 55 | 各種切削条件における切削動力データ | |
| 56 | SEM破面観察結果、EDXによる成分分析結果 | 高橋輝男 |
| 57 | 光学顕微鏡組織写真、SEM破面観察およびEDX分析結果、ロックウェル硬さ試験結果 | |
| 58 | 光学顕微鏡組織写真、SEM破面観察およびEDX分析結果、ロックウェル硬さ試験結果 | |
| 59 | 振動実験結果報告書 | 安東隆志 |
| 60 | 焼入品 | 高橋輝男 |
| 61 | 微小部品の断面写真 | 平山明宏、青木俊憲 |
| 環境・バイオ部 | | |
| 62 | 酵母の増殖特性比較データ | 井上守正 |
| 63 | 発砲ゴムにおけるゴム種の同定結果および灰分並びに灰の元素分析結果 | 平瀬龍二 |
| 64 | 帯電防止剤を添加した発砲ゴムの表面抵抗測定結果 | |
| 65 | 樹脂成型物におけるアセトン抽出物および灰分の定量分析結果 | |
| 情報技術部 | | |
| 66 | 放電持続時間 | 中里一茂、三浦久典 |
| 67 | 放電持続時間 | |
| 機械金属工業技術支援センター | | |
| 68 | 試作治具および引張試験結果 | 山口 篤 |
| 69 | 装置の部品および組立図 | 永本正義 |
| 70 | 金属組織写真および硬さ分布測定装置 | 山口 篤 |

| No. | 希望成果物等 | 担 当 者 |
|-----|--|-----------|
| 71 | 金属組織写真および硬さ測定結果 | 山口 篤、永本正義 |
| 72 | 破面写真 | 山口 篤、後藤浩二 |
| 73 | 成分分析結果 | 山岸憲史 |
| 74 | S E M－E D Sによる変色部の分析結果 | |
| 75 | 顕微顕微鏡写真(組成分析結果) | 山口 篤 |
| 76 | 化学組成分析結果 | |
| 77 | 加工面のSEM写真及び組成分析結果 | |
| 78 | 表面処理を施したサンプルの摩擦特性データ | 山岸憲史 |
| 79 | 成分分析の結果と表面処理の調査 | |
| 80 | 試験機の設計図 | 永本正義 |
| 81 | 最適電解研磨条件の設定および表面観察結果 | 西羅正芳 |
| 82 | 金属組織写真 | 山口 篤 |
| 83 | 金属組織写真、硬さ分布測定結果 | 山口 篤、永本正義 |
| 84 | 表面処理層のEDS分析結果 | 山岸憲史 |
| 85 | 接着強度データ | 永本正義 |
| 86 | 硬さ測定結果 | 山口 篤 |
| 87 | 金属組織写真、硬さ試験結果 | 山口 篤、後藤浩二 |
| 88 | 金属組織写真、硬さ分布測定結果 | |
| 89 | 金属組織写真、硬さ試験結果、組成分析結果 | 山口 篤、山岸憲史 |
| 90 | 金属組織写真、硬さ試験結果、組成分析結果 | |
| 91 | SEM写真および組成分析結果 | 山口 篤 |
| 92 | 金属組織写真、硬さ試験結果、組成分析結果 | 山口 篤、山岸憲史 |
| 93 | 金属組織写真、硬さ試験結果 | 山口 篤 |
| 94 | 化学組成分析結果 | |
| 95 | 金属組織写真 | |
| 96 | 金属組織写真、硬さ試験結果 | 山口 篤、後藤浩二 |
| 97 | 金属組織写真、組成分析結果 | 山口 篤 |
| 98 | 金属組織写真、硬さ試験結果 | 山口 篤、山岸憲史 |
| 99 | アルミ(金属分)の成分分析結果(E D S分析) | 山岸憲史 |
| 100 | 試験装置の製作図 | 永本正義 |
| 101 | S E M観察結果 | 山口 篤 |
| 102 | マクロ金属組織写真、硬さ試験結果 | |
| 103 | 電着用ダイヤモンド粒子のE D S分析、複合めっき皮膜の断面観察(S E M像) | 山岸憲史、西羅正芳 |

| No. | 希望成果物等 | 担当者 |
|--------------|--------------------------------------|------------|
| 104 | 化学組成分析結果 | 山口 篤 |
| 105 | 硬さ試験結果 | |
| 106 | 走査型電子顕微鏡 (SEM、EDX) による摩擦摩耗面の観察結果 | 西羅正芳 |
| 107 | めっき皮膜の断面写真 | |
| 108 | 測定器の製作図 | 永本正義 |
| 109 | 金属組織写真、硬さ試験結果 | 山口 篤、山岸憲史 |
| 110 | 化学組成分析結果 | 山口 篤 |
| 111 | EDS分析結果 | 山岸憲史 |
| 112 | 断面観察用試料の作製、皮膜断面SEM写真 | |
| 113 | 埋込試料、硬さ試験結果 | 山口 篤 |
| 114 | 断面観察用試料、化学組成分析結果 | 山口 篤、永本正義 |
| 115 | 埋込試料、硬さ試験結果 | 山口 篤、後藤浩二 |
| 116 | 破面写真、金属組織写真、硬さ試験結果 | |
| 117 | 化学組成分析結果 | 山口 篤 |
| 118 | 破面観察結果、光学顕微鏡観察結果、硬さ試験結果、化学組成分析結果 | |
| 119 | マクロ金属組織写真、硬さ試験結果 | 山口 篤、後藤浩二 |
| 120 | 硬さならびに抗折力データ | 永本正義 |
| 121 | SEM観察結果 | 山口 篤 |
| 122 | 化学組成分析結果 | |
| 123 | 金属組織観察結果、硬さ試験結果 | |
| 124 | 化学組成分析結果 | |
| 125 | 熱処理後の試料、硬さ試験用試料 | |
| 126 | SEMによる破断面の分析結果 | 山岸憲史 |
| 127 | 金属組織観察結果、硬さ試験結果 | 山口 篤 |
| 128 | 溶射被膜の硬さと断面写真 (光学顕微鏡) | 西羅正芳 |
| 129 | ダイヤモンド複合めっき皮膜の強度試験結果、強度試験後の破断面観察SEM像 | 山岸憲史、山口 篤 |
| 繊維工業技術支援センター | | |
| 130 | SEM写真、FT-IRスペクトル、熱分析 (DSC) 測定データ、報告書 | 東山幸央 |
| 131 | 基準となる食品素材のデータベース化 | 東山幸央、原田知左子 |
| 132 | FT-IR測定でデータ、EDX測定 | 東山幸央 |
| 133 | FT-IR測定でデータ、EDX測定 | |
| 134 | DSC計測データ | |
| 135 | 柔軟剤処理したタオルの風合いに関連するKESデータ | 藤田浩行 |

| No. | 希望成果物等 | 担当者 |
|--------------|------------------------------|------------|
| 136 | ポリプロピレンの粉化サンプル | 東山幸央 |
| 137 | DMA測定データ | |
| 138 | DSC測定データ | |
| 139 | EDX測定データ、IR測定データ、反り試験データ | |
| 140 | 耐光試験機により紫外線照射した酸化チタン混入レーヨン繊維 | 藤田浩行 |
| 141 | ニット製品、ニット製造技術 | 瀬川芳孝、近藤みはる |
| 142 | DSC測定データ | 東山幸央 |
| 143 | 透過率測定結果 | |
| 144 | 釣り竿断面の画像データ | 原田知左子 |
| 145 | DMS測定データ | 東山幸央 |
| 146 | DMS測定データ | |
| 147 | 抗菌試験のデータ | 原田知左子 |
| 148 | 基準となる食品素材およびデータ蓄積のデータベース | 東山幸央、原田知左子 |
| 149 | フェノール樹脂の比熱測定 | 東山幸央 |
| 150 | DSC測定データ | |
| 皮革工業技術支援センター | | |
| 151 | 鞣し試験革サンプル | 佐伯 靖 |
| 152 | 試料溶液中のアルミニウム濃度 | 原田 修 |
| 153 | 報告書作成 | |

8. 3 研究発表・技術資料作成

8. 3. 1 口頭発表

8. 3. 1. 1 学協会関係

| 題 目 | 主催機関・会議名 | 会 場 | 月 日 | 発表者 |
|---|---|-----------------------------|--------|----------------|
| 技術企画部 | | | | |
| Bi系ペロブスカイト薄膜の結晶化に及ぼすその場レーザー光照射の効果 | (社)日本セラミックス協会2011年年会 | 静岡大学浜松キャンパス | 3月17日 | 泉(宏) |
| 技術支援部 | | | | |
| Multiaxial Study of Notched Component of Sn-3.5Ag Solder in Creep-Fatigue | The 9th International Conference on Multiaxial Fatigue & Fracture | University of Parmas, Italy | 6月7日 | 野崎 |
| 屋外環境の三次元モデル化のための動物体の判定 | 電子情報通信学会2011年総合大会 | 東京都市大学 | 3月15日 | 金谷 |
| 材料技術部 | | | | |
| ゴム製新型段差解消スロープの開発 | 日本リハビリテーション工学協会・第25回リハ工学カンファレンス | 仙台市情報・産業プラザ | 8月26日 | 鷺家 |
| メッシュシートによるゴム製品の撥水化 | (社)日本家政学会関西支部・第32回研究発表会 | 兵庫県立大学姫路新在家キャンパス | 10月23日 | 鷺家 |
| 高周波回路用ポリテトラフルオロエチレン基板の表面改質 | 表面技術協会・表面技術協会関西支部関西表面技術フォーラム講演会 | 京都大学宇治キャンパス | 12月3日 | 柴原 |
| 大気圧プラズマ照射を援用した自己組織化単分子膜によるPTFEの表面改質 | 2011年度精密工学会春季大会学術講演会 | 東洋大学白山キャンパス | 3月16日 | 柴原、本田 |
| 大気圧プラズマ照射を援用した自己組織化単分子膜によるPTFEの表面改質 | 表面技術協会第123回講演大会 | 関東学院大学金沢八景キャンパス | 3月17日 | 柴原、本田 |
| 微量Ga添加ZnS:Mnの応力発光強度に及ぼす焼成温度の影響 | 日本セラミックス協会2011年年会 | 静岡大学浜松キャンパス | 3月18日 | 石原(嗣) |
| タングステンブロンズ型Ba ₂ NaNb ₅ Ta ₅ (1-x)O ₁₅ 薄膜の作製と誘電特性 | 日本セラミックス協会2011年年会 | 静岡大学 | 3月18日 | 福住、才木 |
| 高耐食Sn-Fe-W三元系合金薄膜の耐食性と表面構造 | 日本金属学会2011年春季(第148回)大会 | 東京都市大学 | 3月27日 | 福住 |
| フッ素系高分子/ゴム複合材料の表面特性 | 高分子学会・第59回高分子討論会 | 北海道大学高等教育機能開発総合センター | 9月15日 | 本田、鷺家、長谷、磯野、柏井 |
| 短鎖フルオロアルキル側鎖を有するアクリレート系高分子薄膜表面の撥水性に及ぼすα置換基の影響 | 高分子学会・第59回高分子討論会 | 北海道大学高等教育機能開発総合センター | 9月16日 | 本田 |
| 第22回エラストマー討論会 | 社団法人日本ゴム協会 | 京都工芸繊維大学 | 12月2日 | 本田、鷺家、長谷、磯野、柏井 |
| ものづくり開発部 | | | | |
| ロールフローバレル研磨法におけるマスフローの研究 | 2010年度砥粒加工学会学術講演会 | 岡山大学 | 8月26日 | 山本 |
| HDTに基づいたGUI設計の検討 | 和歌山大学デザインエルゴノミクス研究室主催・応用人間工学報告会 | 日本教育会館 会議室、東京都 | 8月27日 | 平田 |
| Experimental and Theoretical Analyses on Rotating Bending Fatigue Properties of SNCM439 Steel in Very High Cycle Regime | 日本材料学会・第30回疲労シンポジウム | 高知城ホール | 10月29日 | 廉本寧 |

| 題 目 | 主催機関・会議名 | 会 場 | 月日 | 発表者 |
|---|---|--|--------|-------|
| ラインレーザ変位計を用いた非接触 オンマシン計測システムの開発 | 日本機械学会・第8回生 産加工・工作機械部門講 演会 | 岡山大学 | 11月19日 | 阿部 |
| 焼入鋼の極小径ボールエンドミル加 工 | 日本機械学会・第8回生 産加工・工作機械部門講 演会 | 岡山大学 | 11月19日 | 浜口、平山 |
| Development of On-the-Machine Measurement System Utilizing Line Laser Displacement Sensor | 日本機械学会他・The 14th International Conference on Mechatronics Technology | 大阪大学 | 11月25日 | 阿部 |
| 構造化コンセプトの活用有無による GUIデザインの比較 | 精密工学会「Designシン ポジウム」 | 産業技術大学院大 学 | 11月25日 | 平田 |
| ステンレス製フィギュア製造におけ るレーザ加工の応用 | レーザ加工学会 | 東京大学生産技術 研究所 駒場リ サーチキャンパス | 12月7日 | 岸本 |
| Modeling and Some Experimental Results of Micro-hydropower System Using Tidal Energy | エコデザイン学会連合・ エコデザイン2010ジャパ ンシンポジウム | 芝浦工業大学豊洲 キャンパス | 12月8日 | 廉本寧 |
| Very High Cycle Fatigue Behavior in Interior-induced Fracture Mode for Bearing Steel SUJ2 under Rotating Bending | 日本材料学会・第25回信 頼性シンポジウム | 名城大学天白キャン パス | 12月10日 | |
| ランドセルの身体負荷軽減に関する 研究－重心動揺およびランドセルの 揺れからの考察－ | 日本人間工学会第51回大 会 | 北海道大学 | 6月20日 | 平田 |
| ヒューマンデザインテクノロジーを 活用したGUI設計手法の検討 | 日本デザイン学会春期大 会 | 長野大学 | 7月3日 | |
| マイクロ切削加工がTiNi形状記憶合 金の相変態挙動の変化に及ぼす影 響 | 金属学会 | 北海道大学 | 9月26日 | 平山 |
| 把持方法と握りやすさに関する研究 -手のサイズと物体把持位置との関 係について- | 精密工学会他「Designシン ポジウム」 | 産業技術大学院大 学 | 11月26日 | 平田 |
| 環境・バイオ部 | | | | |
| 種々の元素を添加したアパタイト型 ランタンシリケートの導電特性 | 日本希土類学会・第27回 希土類討論会 | 北九州国際会議場 | 5月28日 | 吉岡 |
| 弾性表面波による超小型高効率反応 器に関する研究 | 第21回化学とマイクロ・ ナノシステム研究会 | 東京大学本郷キャン パス | 6月11日 | 才木 |
| キトサンを溶解・可塑化する塩 | セルロース学会第17回年 次大会 | 徳島文理大学香川 キャンパス | 7月15日 | 平瀬 |
| 燃料電池を指向したアパタイト型の 酸化物イオン伝導体 | 日本セラミックス協会・ 第44回基礎科学部会セミ ナー | 大阪大学附属理工 学図書館 | 7月27日 | 吉岡 |
| Toward New Practical Education Based on Professional Kansei | The 4th International Symposium on Computational Intelligence and Industrial Application (ISCIIA 2010) | Harbin, China | 8月2日 | 才木 |
| Application of Surface Acoustic Wave Actuator to Lab-on-a-chip | The 1st Japan-china- Korea Joint Seminar on MEMS/NEMS for Green & Life Innovation | Sapporo Convention Center (Sapporo, Japan) | 8月30日 | |

| 題 目 | 主催機関・会議名 | 会 場 | 月日 | 発表者 |
|--|---|--|--------|----------------|
| Evaluation of Body Response to Artificial Ship Movement by Visual and Motion Platform | World Automation Congress 2010 (WAC2010) | Kobe International Conference Center (Kobe, Japan) | 9月19日 | |
| Toward Evaluation of Ship Bridge Teamwork for Marine Simulator Training Based on Heart Rate Variability | | | | |
| 弾性表面波による超小型高効率反応器に関する研究 | 2011 年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集 | 金沢大学角間キャンパス | 9月21日 | 才木 |
| High-sensitive Enzyme-linked Immunosorbent Assay in Three-dimensional Lab-on-a-chip | 14th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (µTAS2010) | Martiniplaza (Groningen, Netherland) | 10月3日 | |
| 兵庫県花「のじぎく」の抗酸化能 | 日本フードファクター学会学術集会 | 仙台市民会館 | 10月4日 | 泉(恵) |
| SAWデバイスによる液体輸送現象の理論的検討 | 第27回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム | くにびきメッセ (松江市) | 10月14日 | 才木 |
| スパッタPZTによるボロメータ型赤外線センサ | | | 10月15日 | |
| Anode Supported SOFC Using Plasma-sprayed Apatite-type Lanthanum Silicate Films As an Electrolyte | Third International Congress on Ceramics | 大阪国際会議場 | 11月17日 | 吉岡 |
| アパタイト型ランタンシリケート溶射膜を用いた負極支持型SOFCの作製と発電特性 | S O F C 研究会・第19回 S O F C 研究発表会 | 科学技術館サイエンスホール | 12月17日 | |
| 弾性表面波アクチュエータを用いた粉体輸送に関する研究 | 平成23年電気学会全国大会 | 大阪大学 豊中キャンパス | 3月17日 | 才木 |
| 遷移金属添加ランタンシリケートの構造と物性 | 日本セラミックス協会 2011年年会 | 静岡大学浜松キャンパス | 3月18日 | 吉岡 |
| ランタンシリケート相に極微量に存在する遷移金属の状態解析 | | | | |
| 情報技術部 | | | | |
| Fabrication of Volume Holographic Imaging Element with Background Noise Reduction Filter for Eye-Gaze Detection under White light Illumination | 7th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication | パシフィコ横浜 (横浜市) | 4月20日 | 瀧澤、北川、松本(哲) |
| Multi-camera gates system for locating hazardous motion in nursing home tenants with cognition disorder. | International Society for Gerontechnology, ISG2010 | Marriott Pinnacle Hotel, Vancouver, Canada | 5月28日 | 松本(哲)、中本、伍賀、北川 |
| Development of multi-camera gate for fall detection in nursing home with face-recognition | | | 5月29日 | 中本、松本(哲) 伍賀、北川 |
| 有限要素法を用いた小型磁気式触覚センサの開発 | 日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門・ロボティクスメカトロニクス講演会2010 | 旭川大雪アリーナ | 6月15日 | 中本 |

| 題 目 | 主催機関・会議名 | 会 場 | 月日 | 発表者 |
|---|--|--|--------|-------------|
| 磁気式触覚センサの振動応答に関する特性評価 | 日本機械学会ロボティクスメカトロニクス部門・ロボティクスメカトロニクス講演会2010 | 旭川大雪アリーナ | 6月15日 | 中本、伍賀 |
| ユニバーサルロボットハンドⅡを用いたハンド/アームロボットシステムの開発 | | | 6月16日 | 中本 |
| 遠隔操作によるハンド/アームロボットの動作教示システムの開発 | | | | |
| ランドセルの身体負荷軽減に関する研究－重心動揺およびランドセルの揺れからの考察－ | 日本人間工学会・日本人間工学会第51回大会 | 北海道大学学術交流館 | 6月20日 | 中本、平田、後藤(泰) |
| 磁気式触覚センサを用いた圧縮・引張時の変位と力の計測に関する基礎的評価 | 計測自動制御学会・中部支部シンポジウム2010 | 信州大学繊維学部 | 10月29日 | 中本、伍賀 |
| Volume Holographic Imaging Element in Eye-Gaze Detection Device | International Workshop on Holographic Memory and Display 2010 | 東京大学生産技術研究所 | 11月15日 | 瀧澤、北川、松本(哲) |
| Performance Evaluation of Magnetic Type Tactile Sensor | 16th International Workshop on Electromagnetic Nondestructive Evaluation | Indian Institute of Technology Madras | 3月12日 | 中本、伍賀 |
| 6軸力覚センサを用いた滑り検出に基づくユニバーサルロボットハンドⅡの把持力制御 | 第20回インテリジェント・システム・シンポジウム | 首都大学東京 | 9月26日 | 中本 |
| ユニバーサルロボットハンドの触覚・力覚情報を用いた把持力制御 | | | | 中本、伍賀 |
| 磁気式触覚センサの小型化と性能評価 | | | | |
| A Magnetic Type Tactile Sensor by GMR Elements and Inductors | IEEE/RSJ, The 2010 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems | Taipei International Convention Center, Taiwan | 10月20日 | 中本、伍賀 |
| 機構の違いを考慮したハンド/アームロボットのマスタスレーブ動作教示システムの開発 | 第53回自動制御連合講演会 | 高知城ホール | 11月5日 | 中本 |
| ユニバーサルロボットハンドⅡの触覚・力覚情報を用いた2指による把持力制御 | | | | 中本、伍賀 |
| 磁気式触覚センサによる変位の計測と分解能 | | | | |
| 機械金属工業技術支援センター | | | | |
| チタン/マグネシウム溶浸体の強度特性におよぼすマグネシウム合金組成の影響 | (社)日本金属学会 | 北海道大学 | 9月27日 | 山口、後藤(浩)、富田 |
| 3価の鉄イオンを含む中性浴からの光沢スズ-鉄-亜鉛3元合金めっき | 電気鍍金研究会・表面技術協会関西支部・2010年度関西表面技術シンポジウム | 大阪鍍金会館 | 7月21日 | 園田 |
| 中性グルコン浴からの光沢スズ-鉄合金めっき | (一社)表面技術協会第123回講演大会 | 関東学院大学 | 3月18日 | 園田 |
| 繊維工業技術支援センター | | | | |
| エレクトロスピンニング法により作製したポリエステル繊維シートを用いたエタノール濃縮技術 | 日本繊維機械学会第63回年次大会 | 大阪科学技術センター | 5月21日 | 中野、東山 |

| 題 目 | 主催機関・会議名 | 会 場 | 月 日 | 発表者 |
|---|--|---------------------------|--------|--------------|
| 先染織物の糸特性に関する研究 | 日本繊維機械学会第63回 年次大会 | 大阪科学技術セン ター | 5月22日 | 古谷、藤田、 瀬川 |
| 縫合綿/PP複合糸を用いた織物強化 複合材料の開発 | 日本材料学会第59期学術 講演会 | 北海道大学 | 5月23日 | 藤田 |
| 先染め織物用の同時多柄たて糸整経 システム | 日本繊維機械学会第17回 秋季セミナー | 同志社大学 | 11月26日 | 古谷 |
| Ethanol enrichment technology using polyethylene terephthalate fiber sheet prepared by electrospinning | 第7回アジアアフリカセ ミナー (Asia-Africa Science Platform Program Establishment of Collaboration Research for 'Neo- Fiber Technology' in Asia and Africa Seminar Series 7) | 京都工芸繊維大学 | 3月17日 | 中野、東山 |
| 炭素繊維(CF)/PET縫合複合糸を用い て製織性を改善したCFRTP製板バネ の多湿超高サイクル疲労下での剛性 低下 | (社)日本機械学会関西支 部第86期定時総会・講演 会 | 京都工芸繊維大学 | 3月18日 | 藤田 |
| 綿/PP縫合複合糸を用いた織物強化 複合材料の開発 | | | 3月20日 | |
| 皮革工業技術支援センター | | | | |
| 多品種小ロットに対応した染色技術 の開発 | NPO法人日本皮革技術協 会 | 東京都立皮革技術 センター台東支所 | 12月3日 | 松本(誠)、 中川 |
| Formaldehyde in Commercially Available Retanning Agents | ILTA (インド皮革技術協 会)、CLRI (インド中央 皮革研究所)・第8回皮 革科学技術アジア国際会 議 (A I C L S T) | ホテルスタデル (インド、コルカ タ) | 11月12日 | 中川 |
| 市販再鞣剤中のホルムアルデヒド | NPO法人日本皮革技術協 会・第56回皮革研究発表 会 | 東京都立皮革技術 センター台東支所 | 12月3日 | 中川 |

8. 3. 1. 2 その他

| 題 目 | 主催機関・会議名 | 会 場 | 月 日 | 発表者 |
|--|-----------------------------|----------------------------------|-------|------|
| 材料技術部 | | | | |
| セルロースナノファイバー及び扁平 状セルロース微粒子を活用した材料 開発 | 次世代ナノテクフォーラ ム ナノテク講演会 | 千里ライフサイエ ンスセンター | 2月23日 | 長谷 |
| 微細構造形成による高分子・ゴム材 料のぬれ性制御 | 神戸ゴム科学研究会総 会・講演会 | 兵庫県立工業技術 センター 開放研究 棟7F大ホール | 5月19日 | 本田 |
| 竹繊維の有効利用による持続型社会 の構築を目指した材料開発 | 平成22年度兵庫自治学会 研究発表大会 | 神戸市外国語大学 | 10月2日 | 長谷 |
| 環境・バイオ部 | | | | |
| 兵庫県花「のじぎく」を利用した機 能性食品の開発 | 兵庫自治学会研究発表大 会 | 神戸外国語大学 | 10月2日 | 泉(恵) |
| 兵庫県花「のじぎく」を用いた機能 性食品の開発 | 第10回産総研・産技連 LS-BT合同研究発表会 | (独)産業技術総合 研究所つくばセン ター | 2月2日 | 泉(恵) |

| 題 目 | 主催機関・会議名 | 会 場 | 月日 | 発表者 |
|--|--------------------------------------|---------------|-------|----------|
| 情報技術部 | | | | |
| ユビキタスネットワークを活用した高齢者等の安心安全を確保する見守り空間創成に関する研究開発 | 総務省・戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE) 第6回成果発表会 | 学術総合センター | 6月11日 | 松本(哲)、中本 |
| 光干渉法を利用した振動面の振動振幅可視化技術 | 工業技術センター他・ものづくり支援セミナーin明石 | 明石市立産業交流センター | 2月16日 | 松本(哲) |
| 機械金属工業技術支援センター | | | | |
| 「人にやさしいユニバーサルデザイン商品の開発」～だれもが暮らしやすい社会 そんな社会に必要な商品のいろいろ～ | 西宮市・ユニバーサル社会づくり実践出前講座 | 西宮市立苦楽園中学校 | 6月11日 | 稲葉 |
| 金物づくり地場産業の活性化への歩み ～ひょうご福祉新産業研究会の活動から～ | 兵庫自治学会平成22年度研究発表大会 | 神戸市外国語大学 | 10月2日 | 稲葉 |
| 毛細管現象を利用した軽量金属部品作製技術の開発 | 第3回サイエンスフェアin兵庫 | 神戸国際展示場 | 2月6日 | 山口 |
| 環境に配慮しためっき皮膜の開発ーニッケルめっき代替プロセスの開発ー | 第3回ニューテックフォーラム in MOBIO-Cafe | クリエイション・コア東大阪 | 2月9日 | 園田 |
| 繊維工業技術支援センター | | | | |
| エジプト綿を用いた播州織の試作に向けての調査及び研究～繊維科学センターとの連携事業～ | 京都工芸繊維大学セミナー | 繊維工業技術支援センター | 10月8日 | 中野 |
| 縫合技術による複合糸から作製した炭素繊維織物強化複合材料の開発に関する研究 | 同志社大学複合材料研究センター2010年度未成果発表会 | 同志社大学 | 3月12日 | 藤田 |
| 皮革工業技術支援センター | | | | |
| 工業技術センターにおけるシカ革活用の取り組みについて | 工業振興課・第1回シカ革商品化研究会 | 姫路じばさんびる | 6月29日 | 中川 |
| 皮革の表面処理技術の開発～革の撥水加工技術～ | 第3回ニューテックフォーラム in MOBIO-Cafe | クリエイション・コア東大阪 | 2月9日 | 森 |

8. 3. 2 誌上発表

8. 3. 2. 1 学協会関係

| 題 目 | 掲載誌 | 巻・号・頁・年 | 担 当 者 |
|---|-------------------------|---|-------------|
| 技術企画部 | | | |
| 有害捕獲したニホンジカの皮の資源有効活用について | 環境技術学会 | 39(8), . 471, (2010) | 杉本 |
| ものづくり開発部 | | | |
| フロースルー研磨方式における流動バレル研磨特性に関する研究 | 砥粒加工学会誌 | 54・7・420・2010 | 山本 |
| 環境・バイオ部 | | | |
| Micro Liquid Rotor Operated by Surface-acoustic-wave | Micro System Technology | Vol. 16, pp. 1589-1594 (2010) | 才木 |
| 弾性表面波を用いた高効率連続流体駆動アクチュエータ | 電気学会論文誌C | vol. 130, no. 10, pp. 1717-1722 (2010) | 才木 |
| Fabrication of anode supported SOFC using plasma-sprayed films of the apatite-type lanthanum silicate as an electrolyte | Solid State Ionics | 181 (37-38), 1707-1712 (2010) | 吉岡 |
| キチン分子シートの水中での再配列－分子動力学法による再生キチンの構造形成機構の提案－ | 繊維学会誌 | Vol. 66, NO. 12, p299-303 (2010) | 平瀬 |
| 情報技術部 | | | |
| 磁気抵抗素子とインダクタを用いた磁気式触覚センサ | 日本機械学会論文集C編 | 76・766・84-90・2010 | 中本、伍賀 |
| 磁気式触覚センサの小型化と性能評価 | 日本機械学会論文集 C編 | Vol. 76, No. 772, pp. 758-765, 2010 | 伍賀、中本 |
| Fabrication of an integrated holographic imaging element for a three-dimensional eye-gaze detection system | Applied Optics | vol. 49, pp. 3780-3785, 2010 | 北川、瀧澤、松本(哲) |
| Volume Holographic Imaging Element with Background Noise Reduction Function for Eye-Gaze Detection under White Light Illumination | Optical Review | Vol. 18, No. 1, pp. 187-190, 2011 | 瀧澤、北川松本(哲) |
| 繊維工業技術支援センター | | | |
| エレクトロスピンニング法によるナノファイバー製造技術と用途 | 繊維学会誌 | Vol. 66, NO. 12, p404-412 (2010) | 中野 |
| 研究所拜見「兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター」 | 繊維機械学会誌 | Vol. 63, No. 5 (2010) pp275-279 | 藤田 |
| A method for plaiting polymer fibre around natural yarn to form composite fabric | WIT Press | High Performance Structures and Materials V pp. 187-195, 2010 | 藤田 |

8. 3. 2. 2 技術書籍等

| 題 目 | 掲載誌 | 巻・号・頁・年 | 担 当 者 |
|---|---------------------------------|----------------------------------|---------------|
| 材料技術部 | | | |
| 兵庫県立工業技術センター | 成形加工 | 第22巻・第7号・380-383・2010 | 鷲家 |
| ものづくり開発部 | | | |
| 形状記憶合金のマイクロ切削加工 | 兵庫機械技術研究会の会報 | No. 303・8・P7・2010 | 平山 |
| やさしいデザインの理論33「GUIデザイン」 | DESIGN PROTECT | No. 87, 49-56, 2010 | 平田 |
| 環境・バイオ部 | | | |
| 船体動揺環境下における身体重心動揺とストレス評価に関する基礎研究 | 神戸大学海事科学研究科紀要 | 第7号, pp. 75-80, 2010. 7 | 才木 |
| Japan Astrobiology Mars Project (JAMP): Search for microbes on the Mars surface with special interest in methane-oxidizing bacteria | Biological Sciences in Space | vol. 24, no. 2, pp. 67-82 (2010) | 才木 |
| 燃料電池を指向したアパタイト型ランタンシリケート酸化物イオン伝導体 | マテリアルインテグレーション | 24 (1), 38 - 43, 2011 | 吉岡 |
| 情報技術部 | | | |
| 触覚センサ | メカトロニクス | 4月号・2010 | 中本 |
| 高齢者の転倒・徘徊など、常時監視、不要に | 画像ラボ | 21・9・38・2010 | 松本(哲)、中本、伍賀北川 |
| 機械金属工業技術支援センター | | | |
| ドロップネットを用いたシカの大量捕獲手法の技術開発 | 兵庫の森のチカラを生かす研究 | pp49-50 | 永本、松本(哲)北川 |
| 繊維工業技術支援センター | | | |
| マイクロ波照射によるホットメルト樹脂フィルム／織物積層材料の成形について | 「ホットメルト材料および装置、製品の最新技術と使い方ノウハウ」 | P209-216, 2011 (株)技術情報協会 | 藤田 |

8. 3. 2. 3 機関誌等

| 題 目 | 掲載誌 | 巻・号・頁・年 | 担 当 者 |
|---------------------------------|----------|----------------|-------|
| 孫の疑問に答える博学ご隠居の技術談義「革の宝石 コードバン」 | ひょうご経済戦略 | Vol. 31, No. 4 | 中川 |
| プロダクトデザイン戦略ープロダクトデザイン戦略を成功させるには | ひょうご経済戦略 | Vol. 31, No. 6 | 後藤(泰) |
| 孫の疑問に答える博学ご隠居の技術談義「携帯電話と安全運転」 | ひょうご経済戦略 | Vol. 31, No. 6 | 東 |

| 題 目 | 掲載誌 | 巻・号・頁・年 | 担 当 者 |
|--|------------------------|---------------------|-------|
| ミクロの世界を加工する、目指せ未来の町工場「形状記憶合金のマイクロ切削加工」 | ひょうご経済戦略 | Vol. 31, No. 7 | 平山 |
| 小径切削工具を用いた高速ミーリング加工技術 | (社)神戸市機械金属工業会 ジャーナル | Vol. 14 | 浜口 |
| エネルギー分散型エックス線分析装置付走査型電子顕微鏡の紹介 | 三木商工会議所会報 | No. 362(2010), p. 9 | 山口 |
| 多様な用途に活用できるセンサ「磁気式触覚センサ」 | ひょうご経済戦略 | Vol. 31, No. 9 | 中本 |
| 新しい科学・技術用語の解説「”3D映像”リアリティや臨場感が表現できる新たな映像」 | 明石市産業振興財団News | 第48号 | 北川 |
| 孫の疑問に答える博學ご隠居の技術談義「都市鉱山～日本の都市には大鉱山が眠っている？」 | ひょうご経済戦略 | Vol. 31, No. 10 | 吉岡 |
| 人や地球に優しい「扁平状セルロース微粒子」の開発 –高機能化粧品材料として採用– | ひょうご経済戦略 | Vol. 31, No. 12 | 長谷 |
| 新しい科学・技術用語の解説「”超撥水”水を弾く表面」 | 明石市産業振興財団News | 第49号 | 本田 |
| 孫の疑問に答える博學ご隠居の技術談義「人と地球に優しい皮革～日本エコレザー基準認定ラベル～」 | ひょうご経済戦略 | Vol. 32, No. 1 | 松本(誠) |
| 多機能スパッタリング装置の紹介と応用例 | (社)神戸市機械金属工業会 ジャーナル | Vol. 15 | 福住 |
| PETシートを利用した軽量黒板～貼り替え用黒板シート～ | ひょうご経済戦略 | Vol. 32, No. 3 | 柴原 |
| 新しい科学・技術用語の解説”ポリフェノール”赤ワインだけではありません | 明石市産業振興財団News | 第50号 | 泉(恵) |
| 国際単位系SIについて | 三木商工会議所会報 | No. 366 | 後藤(浩) |

8. 4 新聞による報道

| | | |
|------------|--------|------------------------------------|
| 平成22年4月2日 | 日刊産業新聞 | CIGS再生技術開発 ー化合物系太陽電池材料 合金リターン供給ー |
| 平成22年4月8日 | 西脇時報 | 手織り機・机上織機体験教室開催 |
| 平成22年4月13日 | 神戸新聞 | 手織り機に触れてみて ー体験し参加者募集ー |
| 平成22年4月19日 | 化学工業日報 | 希少金属回収を強みに ー太陽電池材供給など本格化ー |
| 平成22年4月20日 | 日本経済新聞 | 酒造用乳酸菌で健康飲料 |
| 平成22年4月20日 | 毎日新聞 | 伝統の生もと造り「乳酸菌で健康飲料」 |
| 平成22年4月20日 | 神戸新聞 | 酒蔵生まれの乳酸発酵飲料 |
| 平成22年4月30日 | 日刊工業新聞 | 神戸で技術交流大会 ー兵庫県工業技術振興協議会ー |
| 平成22年5月10日 | 日刊工業新聞 | 太陽電池の光変換材料 ー新興化学がリサイクルー |
| 平成22年5月19日 | 神戸新聞 | 来月ひょうご技術交流大会 |
| 平成22年5月27日 | 日本経済新聞 | 若者にアピール 海外市場も開拓 ー酒造会社、活路探る 兵庫経済特集ー |
| 平成22年5月27日 | 毎日新聞 | 菊正宗だからできた新しい乳酸発酵飲料 |
| 平成22年5月27日 | 繊維ニュース | 播州織 若い力が必要不可欠 |
| 平成22年5月28日 | 繊維ニュース | 日本繊維機械学会賞 ー東洋紡などが受賞ー |
| 平成22年6月13日 | 神戸新聞 | 地場産業コラボ活況 ー伝統と新発想で相乗効果ー |
| 平成22年6月30日 | 繊維ニュース | 連携協定調印式 ー播州織産地の振興に向けー |
| 平成22年7月1日 | 日本経済新聞 | 京都工織大と連携協定に調印 |
| 平成22年7月1日 | 神戸新聞 | 播州織の新素材開発へ ー生産地も連携ー |
| 平成22年7月1日 | 日刊工業新聞 | 研究連携で協定締結 ー播州織を振興ー |
| 平成22年7月1日 | 京都新聞 | 新繊維開発へ連携協定 |
| 平成22年7月1日 | 繊維ニュース | 連携協定で調印式 ー播州織産地の競争力向上へー |
| 平成22年7月2日 | 織研新聞 | 連携通じ新たな繊維を |
| 平成22年7月5日 | 繊維ニュース | この人に聞く ー産地の技術力を引き上げるー |
| 平成22年7月8日 | フジサンケイ | 播州織の産地振興京都工織大と連携 |
| 平成22年7月14日 | 繊維ニュース | スワイベル織物を実用化 ー無縫製ドレスの開発へー |
| 平成22年7月25日 | 神戸新聞 | 新兵庫人定説覆した新ヘッド プレーヤーに「喜び」提供 |
| 平成22年8月13日 | 神戸新聞 | 夢をカタチに ー5本指の手 人に近づく繊細な動作ー |
| 平成22年9月6日 | ゴム報知新聞 | 小型磁気式触覚センサを開発 |
| 平成22年9月7日 | 化学工業日報 | 磁気式触覚センサーを小型化 |

| | | |
|-------------|--------|--|
| 平成22年9月14日 | 神戸新聞 | 触覚センサー実用化へ ー大きき5分の1にー |
| 平成22年9月15日 | 日本経済新聞 | 紫外線光源を開発 ーフィルム型、医療向けー |
| 平成22年9月15日 | 日刊工業新聞 | フィルム型UV光源 ー篠田プラズマ、医療向けー |
| 平成22年9月23日 | 神戸新聞 | 紫外線光源を開発 ーフィルム型医療へ応用目指すー |
| 平成22年10月1日 | 繊維ニュース | 播州織 異業種コラボが進展 ー福祉関連とGFFでー |
| 平成22年10月22日 | 神戸新聞 | 播州織の縦糸交換を自動化「企業など連携、新装置開発 |
| 平成22年10月26日 | 日刊工業新聞 | 第5回モノづくり連携大賞 |
| 平成22年10月27日 | 神戸新聞 | 口内のセンサー、会話中や睡眠把握 ー高齢者の安否遠隔確認OKー |
| 平成22年11月9日 | 日刊工業新聞 | 第5回モノづくり連携大賞受賞 ー特別賞 繊維試作システムの開発ー |
| 平成22年11月17日 | 日本経済新聞 | 県工技センターに集約 ー三木の機械金属センターー |
| 平成22年11月22日 | 日刊工業新聞 | 低コスト・短納期で織物 |
| 平成22年12月9日 | 日刊工業新聞 | 無縫製織物の実用化急ぐ ー片山商店ー |
| 平成22年12月16日 | 朝日新聞 | どぶろく初仕込み1号 ー特区の福知山・大江ー |
| 平成22年12月16日 | 京都新聞 | 棚田どぶろく初仕込み ー福知山・大江「酒呑童子の里ー |
| 平成22年12月16日 | 両丹日日新聞 | 大江のどぶろく初仕込み ー棚田の里」三が日に販売ー |
| 平成22年12月24日 | 日本海新聞 | 実践！環境経済戦略 ー有機物の沈殿分離剤開発ー |
| 平成23年1月1日 | 神戸新聞 | 2011年新春知事対談「 ー夢を持ち続けようー |
| 平成23年1月4日 | 神戸新聞 | 金属切削加工 ー基礎学ぶ講座ー |
| 平成23年1月6日 | 神戸新聞 | 県立大講師ら出前セミナー「公設研究機関を紹介」 |
| 平成23年1月8日 | 日本経済新聞 | 入れ歯に感知器 高齢者安否確認 ー兵庫工技センターが研究ー |
| 平成23年1月27日 | 日刊工業新聞 | モノづくり支援拠点続々と ー工技センター機能強化ー |
| 平成23年2月8日 | 神戸新聞 | 淡路活性化へ 環境技術活用 ー神戸でセミナーー |
| 平成23年2月15日 | 日刊工業新聞 | 情報フラッシュ ーものづくり支援セミナーー |
| 平成23年2月24日 | 日刊工業新聞 | 第8回新機械振興賞 きょう表彰式 ー独創・革新の研究開発で機械工業技術の発展に貢献ー |
| 平成23年2月26日 | 神戸新聞 | ものづくりの課題議論 ー経営者と知事が懇話会ー |
| 平成23年3月1日 | 繊維ニュース | 播州織総合素材展に連動してオリジナル織物展 |
| 平成23年3月8日 | 神戸新聞 | 播州織で工業品素材ー軽くて丈夫な板、車部材に応用ー |
| 平成23年3月11日 | 読売新聞 | 播磨の新酒「仕上がり上々」 ー姫路10業者の54点審査ー |
| 平成23年3月17日 | 神戸新聞 | 手織り機体験 ー参加者を募集ー |

9. 依頼業務

9. 1 依頼試験及び依頼加工

9. 1. 1 対象別項数

| 対 象 | 項 数 |
|------------|-------|
| 分 析 試 験 | 193 |
| 物理化学試験 | 1 |
| 電気試験 | 0 |
| 金属材料試験 | 0 |
| 包装及び包装材料試験 | 132 |
| 織物及び繊維材料試験 | 378 |
| 皮革材料試験 | 763 |
| 窯業材料 | 0 |
| 技術講習料 | 39 |
| その他 | 144 |
| 合 計 | 1,650 |

9. 1. 2 地区別項数

| 地 区 | 項 数 |
|--------|-------|
| 1 神 戸 | 78 |
| 2 阪神南 | 29 |
| 3 阪神北 | 10 |
| 4 東播磨 | 117 |
| 5 北播磨 | 274 |
| 6 中播磨 | 349 |
| 7 西播磨 | 233 |
| 8 但 馬 | 3 |
| 9 丹 波 | 6 |
| 10 淡 路 | 0 |
| 11 その他 | 551 |
| 合 計 | 1,650 |

9. 2 設備利用

9. 2. 1 対象別項数

| 対 象 | 項 数 |
|--------|-------|
| 工作機械 | 96 |
| ゴム機械 | 86 |
| 合成樹脂機械 | 29 |
| 加 熱 炉 | 349 |
| 皮革機械 | 35 |
| 繊維機械 | 121 |
| 試験機械 | 6,839 |
| 合 計 | 7,555 |

9. 2. 2 地区別項数

| 地 区 | 項 数 |
|--------|-------|
| 1 神 戸 | 1,984 |
| 2 阪神南 | 700 |
| 3 阪神北 | 350 |
| 4 東播磨 | 1,175 |
| 5 北播磨 | 584 |
| 6 中播磨 | 813 |
| 7 西播磨 | 166 |
| 8 但 馬 | 124 |
| 9 丹 波 | 69 |
| 10 淡 路 | 32 |
| 11 その他 | 1,558 |
| 合 計 | 7,555 |

10. 技術相談・指導業務

10.1 技術相談・指導

10.1.1 対象別件数

| | 相談件数 | うち指導をともなう件数 |
|----------------|-------|-------------|
| 合計 (①+②+③+④) | 9,020 | 4,470 |
| センター神戸 | | |
| 無 機 | 405 | 169 |
| 窯 業・土 石 | 40 | 20 |
| 有 機 | 117 | 52 |
| 石 油 | 18 | 7 |
| ゴム・プラスチック・皮革 | 735 | 288 |
| 食 品・バイオ | 120 | 68 |
| 産 業 公 害 | 19 | 10 |
| 機 械・工 具 | 636 | 222 |
| 電 気・電 子 | 1,130 | 594 |
| 金属・表面処理 | 338 | 112 |
| 木工・工芸・木質 | 0 | 0 |
| 包 装・製 紙 | 276 | 8 |
| デ ザ イ ン | 267 | 63 |
| そ の 他 | 345 | 186 |
| 小 計 ① | 4,446 | 1,799 |
| 機械金属工業技術支援センター | | |
| 熱 処 理 | 137 | 58 |
| 金属・表面処理 | 178 | 36 |
| 金 属 加 工 | 112 | 14 |
| 金 型 加 工 | 1 | 1 |
| 溶 接 | 15 | 2 |
| 設 計・試 作 | 109 | 81 |
| 材 料 強 度 | 94 | 25 |
| 精 密 測 定 | 39 | 18 |
| 分 析 | 113 | 76 |
| そ の 他 | 246 | 61 |
| 小 計 ② | 1,044 | 372 |
| 繊維工業技術支援センター | | |
| 染 色 | 106 | 76 |
| 製 布 準 備 | 196 | 148 |
| 編 織 | 225 | 138 |
| 仕 上 加 工 | 145 | 119 |
| 繊 維 化 学 | 157 | 111 |
| 繊 維 物 理 | 164 | 115 |
| 試 験 鑑 定 | 711 | 600 |
| デ ザ イ ン | 399 | 347 |
| そ の 他 | 95 | 37 |
| 小 計 ③ | 2,198 | 1,691 |
| 皮革工業技術支援センター | | |
| 準 備 工 程 | 14 | 11 |
| な め し 工 程 | 70 | 38 |
| 染色・加脂工程 | 35 | 20 |
| 仕 上 げ 工 程 | 38 | 14 |
| 廃水・スラッジ | 2 | 0 |
| 副 産 物 | 41 | 15 |
| 革製品・加工 | 243 | 164 |
| 分 析・物 理 | 371 | 186 |
| 消 費 科 学 | 52 | 27 |
| そ の 他 | 466 | 133 |
| 小 計 ④ | 1,332 | 608 |

10. 1. 2 地区別件数

| 対象地区 | 相談件数 | うち指導をとまなう件数 |
|----------------|-------|-------------|
| 合計 (①+②+③+④) | 9,020 | 4,470 |
| センター神戸 | | |
| 神戸 | 1,210 | 537 |
| 阪神南 | 407 | 147 |
| 阪神北 | 272 | 101 |
| 東播磨 | 456 | 180 |
| 北播磨 | 337 | 141 |
| 中播磨 | 416 | 194 |
| 西播磨 | 282 | 107 |
| 但馬 | 48 | 15 |
| 丹波 | 46 | 19 |
| 淡路 | 108 | 61 |
| 県外 | 864 | 297 |
| 小計 ① | 4,446 | 1,799 |
| 機械金属工業技術支援センター | | |
| 神戸 | 113 | 51 |
| 阪神南 | 36 | 23 |
| 阪神北 | 31 | 18 |
| 東播磨 | 67 | 22 |
| 北播磨 | 600 | 179 |
| 中播磨 | 57 | 26 |
| 西播磨 | 19 | 10 |
| 但馬 | 27 | 10 |
| 丹波 | 49 | 14 |
| 淡路 | 2 | 0 |
| 県外 | 43 | 19 |
| 小計 ② | 1,044 | 372 |
| 繊維工業技術支援センター | | |
| 神戸 | 217 | 149 |
| 阪神南 | 14 | 10 |
| 阪神北 | 10 | 10 |
| 東播磨 | 405 | 333 |
| 北播磨 | 1,070 | 821 |
| 中播磨 | 79 | 54 |
| 西播磨 | 7 | 6 |
| 但馬 | 11 | 8 |
| 丹波 | 24 | 22 |
| 淡路 | 0 | 0 |
| 県外 | 361 | 278 |
| 小計 ③ | 2,198 | 1,691 |
| 皮革工業技術支援センター | | |
| 神戸 | 30 | 16 |
| 阪神南 | 19 | 0 |
| 阪神北 | 13 | 4 |
| 東播磨 | 16 | 13 |
| 北播磨 | 24 | 10 |
| 中播磨 | 640 | 260 |
| 西播磨 | 419 | 216 |
| 但馬 | 74 | 61 |
| 丹波 | 3 | 1 |
| 淡路 | 2 | 2 |
| 県外 | 92 | 25 |
| 小計 ④ | 1,332 | 608 |

10.2 実地指導

| 地 区 | 訪問形態と訪問企業数 | |
|----------------|------------|--------|
| | センター神戸 | 集中企業訪問 |
| 特定企業訪問 | | 20 |
| 一般企業訪問 | | 66 |
| 計 | | 168 |
| 機械金属工業技術支援センター | 集中企業訪問 | 11 |
| | 特定企業訪問 | 31 |
| | 一般企業訪問 | 14 |
| | 計 | 56 |
| 繊維工業技術支援センター | 特定企業訪問 | 4 |
| | 一般企業訪問 | 13 |
| | 計 | 17 |
| 皮革工業技術支援センター | 一般企業訪問 | 50 |
| 合 計 | | 291 |

10.3 技術開発等専門家派遣事業

| 区 分 | | 実 績 | |
|----------------|-----------|-------|-------|
| | | 企 業 数 | 延指導日数 |
| 工業技術センター（神戸） | 機 械 | 5 | 43 |
| | 電気電子・情報 | 3 | 8 |
| | 金 属 | 3 | 16 |
| | 無機・セラミックス | 2 | 4 |
| | 有機・高分子 | 1 | 1 |
| | 包 装 | 2 | 3 |
| | 食 品 | 10 | 74 |
| | 品質管理 | 3 | 17 |
| | 環境・エネルギー | 1 | 3 |
| | 計 | 30 | 169 |
| 機械金属工業技術支援センター | 金 属 | 5 | 7 |
| 繊維工業技術支援センター | 織 維 | 3 | 13 |
| 皮革工業技術支援センター | 皮 革 | 2 | 8 |
| 計 | | 38 | 197 |

技術開発指導員（54名）

機 械 : 大場貢一、小野豊順、久保富雄、木村郁夫、澤田 弘、四方 宏
 富阪 泰、富田慎一、仲野俊昭、能勢功一、丸山功二、宮本英希
 電気電子・情報 : 伊藤憲治、白石英洋、濱浦 彰、平野隆志、前田哲男
 金 属 : 清重正典、長尾一郎、長島良雄、松村宗順、森川哲夫
 有機・高分子 : 上田善治、中島克和、安井三雄
 靴 : 山本敏信
 包 装 : 牧野隆男、山崎 潔
 食 品 : 上田護國、児玉邦彦、高橋 弘、西村 章、前川季義
 環境・エネルギー : 赤澤伯一、井上 求、深田晃二、藤田 靖、細川保隆
 無機・セラミックス : 雨堤重光、但田廣次、丹生光雄、庭野一久
 品質管理 : 杉本 洋、高宮 洋、原 徹
 デザイン : 日下壽々、黒木直人
 織 維 : 陰山和良、小紫和彦、蛭田位行、村上朋輝
 皮 革 : 鍛治雅信、隅田 卓、田仲留美子

10.4 技術者養成

10.4.1 皮革大学校（小規模事業者等支援委託事業）

10.4.1.1 皮革製造基礎部門

| 実施期間 平成22年7月9日～23年2月17日 計 28時間 | | | | | |
|--------------------------------|-------------|--------------------|----------------------|------|----------|
| 受講者 31名、修了者 12名 | | | | | |
| (1) 皮革製造技術（学科） | | | | | 計 26 時間 |
| 月日 | 研修科目 | 講 師 | | | |
| 7月 9日 | 皮革概論 | (株)山陽 | 網野利憲 | | |
| 7月 12日 | 原料皮 | | | | |
| 7月 16日 | 準備工程 | TFLジャパン(株) | 中村泰久 | | |
| 7月 21日 | 浸酸・クロム鞣し | | | | |
| 7月 23日 | 再鞣 | | | | |
| 7月 26日 | タンニン、その他の鞣し | 川村通商(株) | 鍛冶雅信 | | |
| 7月 28日 | 染色 | | | | |
| 7月 30日 | 加脂 | | | | |
| 8月 2日 | 仕上げ | スタールジャパン(株) | 上山卓一 | | |
| 8月 20日 | 革靴産業の情報 | (有)シューフィル | 大谷知子 | | |
| 8月 23日 | スポーツ用品と皮革 | (株)ミズノ | 糸 和弘 | | |
| 8月 27日 | 皮革の試験と規格 | 皮革工業技術支援センター | 松本 誠 | | |
| 8月 30日 | ファッション情報 | 神戸ファッション専門学校 | 田仲留美子 | | |
| (2) 皮革技術情報（学科） | | | | | 計 2 時間 |
| 講義・実習題目 | 月日 | 講師 | 会場 | 受講者数 | 担当者 |
| 皮革の袋物製造について | 2月17日 | 袋物技術研究所 代表 茂本武一 | 皮革工業 技術支援 センター | 19 | 西森、松本(誠) |

10.4.1.2 皮革製造技術部門

| 実施期間 平成22年7月26日～9月29日 計48時間 | | | | | |
|-----------------------------|---------------|-------------------|----------------------|------|----------|
| 受講者 5名、修了者 5名 | | | | | |
| (1) 皮革製造技術（実習） | | | | | |
| 講義・実習題目 | 月日 | 講師 | 会場 | 受講者数 | 担当者 |
| 皮革の製造実収 下地革まで | 7月26日 ～30日 | 川村通商(株) 鍛冶雅信 | 皮革工業 技術支援 センター | 5 | 原田、佐伯(靖) |
| 皮革の製造実収 仕上げ工程 | 9月27日 ～29日 | 皮革コンサルタント 三部俊一 | | 2 | |

10.4.1.3 バッグ製造技術部門

| 実施期間 平成22年8月16日～31日 計42時間 | | | | | |
|---------------------------|---------------|------------------------------------|----------------------|------|-------|
| 受講者 7名、修了者 7名 | | | | | |
| (1) バッグ製造(実習) | | | | | |
| 講義・実習題目 | 月日 | 講師 | 会場 | 受講者数 | 担当者 |
| バッグ製作と基本技術 | 8月16日 ～20日 | 皮革工業技術支援セ ンター 桑田 実 | 皮革工業 技術支援 センター | 7 | 桑田、西森 |
| デザインとバッグ試作 | 8月30日 ～31日 | 神戸ファッション 専門学校 田仲留美子 永田美佐子 | | 5 | 桑田、西森 |

10.4.1.4 靴製造技術部門

| 実施期間 平成22年10月18日～21日 計24時間 | | | | | |
|----------------------------|----------------|-------------|-------------|------|----------|
| 受講者 5名、修了者 4名 | | | | | |
| (1) 靴製造(実習) | | | | | |
| 講義・実習題目 | 月日 | 講師 | 会場 | 受講者数 | 担当者 |
| 靴の製造実習 | 10月18日 ～21日 | 竜田靴 小松竜田 | (有)新喜 皮革 | 5 | 佐伯(靖)、西森 |

10.4.2 その他の研修

10.4.2.1 中小企業中堅技術者養成事業

| テーマ | 期間 | 研修生数 | 担当部 | 担当者 |
|------------------------------|-------------|------|----------------|-------|
| 加硫ゴム形成時の金型汚染性へのサブの添加効果に関する評価 | 8月2日～12月17日 | 1 | 材料技術部 | 長谷 |
| 金属材料試験および調査技術の習得 | 9月9日～12月24日 | 1 | ものづくり開発部 | 高橋、青木 |
| チップソーの品質評価 | 8月4日～11月9日 | 1 | 情報技術部 | 中本 |
| 表面処理(めっき)技術・知識の向上 | 8月6日～12月22日 | 1 | 機械金属工業技術支援センター | 西羅 |
| 繊維への樹脂塗布加工による製品製造技術の確立 | 8月1日～10月31日 | 1 | 繊維工業技術支援センター | 藤田 |

10.4.2.2 ものづくり基盤技術入門研修

| テーマ | 開催日 | 受講者数 | 担当部 | 担当者 |
|--------------------------|---------------------|-----------------|----------|-------------|
| ゴム・プラスチック・金属の成形技術コース | 鋳造シミュレーションによる鋳物製造技術 | 10月29日 11月1日 | 材料技術部 | 柏井、山下 |
| | ゴム製品製造実習 | 11月4日 11月11日 | | 鷺家 |
| | 射出成形 | 11月25日 26日 | | 長谷、佐伯(光) |
| 薄膜&表面処理の評価コース | スパッタリングによる薄膜作製と評価 | 11月4日 5日 | 材料技術部 | 福住、山下 |
| | 表面処理技術 | 11月9日 10日 | | 柴原、本田 |
| 金属材料の組織観察と強度試験 | 9月9日 10日 | 5 | ものづくり開発部 | 岸本、山本、高橋、青木 |
| 非破壊検査技術 | 10月8日 | 4 | | 平山 |
| 切削加工 | 10月14日 15日 | 3 | | 浜口、平山 |
| 振動試験 | 10月21日 | 3 | ものづくり開発部 | 安東 |
| 精密測定技術 | 10月22日 | 1 | | 阿部 |
| 食品製造現場でのpH調整実践セミナー | 1月25日 | 6 | 環境・バイオ部 | 井上 |
| アナログ回路技術の基礎ーオペアンプの基本と応用ー | 8月26日 27日 | 8 | 情報技術部 | 瀧澤、中里、中本 |

| テ ー マ | 開 催 日 | 受講者数 | 担 当 部 | 担当者 |
|-----------------|---------------|------|----------------|-----------------|
| 金属材料の評価方法 | 12月8日 9日 | 6 | 機械金属工業技術支援センター | 園田、稲葉、 山口、西羅 |
| 織物の製造方法の基礎と品質評価 | 11月15日 16日 | 7 | 繊維工業技術支援センター | 藤田、東山 |

10.4.2.3 大学生等研修生養成

| テ ー マ | 期 間 | 研修生数 | 担 当 部 | 担当者 |
|------------------------------|---------------------|------|----------------|-----|
| シリコン基板上に析出する貴金属微粒子の観察および構造解析 | 8月1日～3月31日 | 1 | 機械金属工業技術支援センター | 山岸 |
| Fe-Ni合金電析膜の構造解析 | 8月1日～3月31日 | 1 | | 山口 |
| 人にやさしい表示方法に関する研究 | 9月6日～ 平成23年4月22日 | 2 | 情報技術部 | 瀧澤 |

10.4.2.4 その他の技術者養成

| テ ー マ | 期 間 | 研修生数 | 担 当 部 | 担当者 |
|-----------------|---------------|------|--------------|------|
| 織物原料と組織全般 | 4月5日～5月5日 | 2 | 繊維工業技術支援センター | 近藤 |
| 組織全般、縞割、糸量計算 | 5月7日～6月7日 | 2 | | |
| 織物の原料、組織全般 | 7月8日～8月6日 | 1 | | |
| 織物の組織、糸量計算 | 8月9日～9月8日 | 1 | | |
| 織物の原料、組織全般 | 10月25日～29日 | 1 | | |
| 組織全般、糸量計算、縞割り | 11月25日～12月24日 | 1 | | |
| 先染織物の基礎知識 | 1月11日～2月10日 | 1 | | |
| 先染織物の基礎知識、織物の組織 | 2月15日～4月14日 | 1 | | |
| 皮革二次加工 | 5月6日～6月4日 | 2 | 皮革工業技術支援センター | 桑田 |
| | 5月19日～6月18日 | 1 | | |
| | 7月15日～8月14日 | 2 | | |
| | 10月4日～12月3日 | 2 | | |
| | 10月7日～12月6日 | 2 | | |
| | 1月12日～3月16日 | 1 | | |
| | 1月17日～3月16日 | 1 | | |
| | 1月19日～2月18日 | 1 | | |
| 1月19日～3月20日 | 1 | | | |
| 皮革製品の異同識別に関する研究 | 10月1日～3月31日 | 1 | | 中川、森 |

10.4.2.6 機器利用研修

| 機 器 名 等 | 期 間 | 研修生数 | 担 当 者 |
|------------|------------|-------|--|
| 高延性材料試験機 他 | 4月1日～3月31日 | 延273名 | 技術企画部、技術支援部 材料技術部、ものづくり開発部 環境・バイオ部、情報技術部 機械金属工業技術支援センター 繊維工業技術支援センター 皮革工業技術支援センター |

1 1. 技術情報業務

1 1. 1 ニュース等の発行

1 1. 1. 1 技術情報「兵織技ニュース」発行

(A4、各 6 ページ、各400部)

| No. | 発行年月 | 題 目 |
|-----|----------|--------------------------------------|
| 127 | 平成22年6月 | 共同研究の成果報告「神戸ファッション専門学校」 |
| | | 新設機器紹介 |
| | | 熱分析で何が分かるのか？ |
| | | トピックス |
| | | 人事異動 |
| 128 | 平成22年10月 | 京都工芸繊維大学繊維科学センターとの連携について |
| | | 平成21年度の研究成果 |
| | | トピックス |
| | | ものづくり基盤技術入門研修<研修生募集> |
| 129 | 平成23年1月 | ごあいさつ |
| | | ジャパン・テキスタイル・コンテスト（JTC）入賞の12年と技術開発の歩み |
| | | 熱分析で何が分かるのか？ |
| | | ものづくり基盤技術入門研修「織物の製造方法の基礎と品質評価」の実施報告 |
| | | 新設機器の紹介 |
| | | トピックス |

1 1. 1. 2 技術情報「兵皮支ニュース」発行

(A4、4 ページ、700部)

| No. | 発行年月 | 題 目 |
|-----|---------|-------------------|
| 32 | 平成22年7月 | 皮革工業技術支援センターの業界支援 |
| | | 平成21年度研究成果 |
| | | 人事異動 |
| | | 利用のご案内 |
| | | 新設機器の紹介 |
| | | 平成22年度皮革大学校のご案内 |

11.2 研究報告等の発行

11.2.1 「兵庫県立工業技術センター研究報告書第19号」発行 (A4、93ページ、700部)

| No. | 発行年月 | 平成21年度に実施した研究成果 | |
|-----------------|----------|-----------------|-----|
| 平成 22 年度版 | 平成22年11月 | ・無機材料系 | 6件 |
| | | ・金属材料系 | 7件 |
| | | ・有機材料系 | 3件 |
| | | ・生産技術系 | 11件 |
| | | ・ロボット系 | 4件 |
| | | ・電子技術系 | 6件 |
| | | ・プロダクトデザイン系 | 2件 |
| | | ・バイオ技術系 | 4件 |
| | | ・繊維技術系 | 6件 |
| | | ・皮革技術系 | 4件 |
| | | ・環境分野 | 2件 |

11.2.2 「繊維工業技術支援センター研究報告」発行 (A4、33ページ、400部)

| No. | 発行年月 | 題 目 |
|-----------------|----------|--------------------------------------|
| 平成 22 年度版 | 平成21年12月 | 播州固有の変織技法による世界初の無縫製織物ドレスの研究開発 |
| | | 温度差制御気化浸透法によるバイオエタノール濃縮工程の高効率化 |
| | | 衣料用織物に適した顔料染色技術の開発 |
| | | 縫合技術を利用した炭素繊維織物強化複合材料の開発 |
| | | 低エネルギー型濃縮法による新エタノール製造技術に関する調査研究 |
| | | アレンジワインダー糸を使用した織物企画設計支援システムの開発に関する研究 |
| | | 極少量生産に対応した先染め織物製造技術に関する研究 |
| | | 光応答機能性繊維の開発 —天然繊維のフォトクロミック加工に関する研究— |

11.3 インターネットによる情報提供

(概要) インターネットを通して技術情報、センター情報を提供し、技術支援を図る。

<http://www.hyogo-kg.go.jp>

| | データベース | | | | センター情報 | | | ホームページ アクセス件数 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|------------------|
| | 機器設備情報 | 依頼試験情報 | 保有技術情報 | 研究報告情報 | 特許情報 | 出版物情報 | その他 | |
| 件数 | 124 | 102 | 470 | 622 | 29 | 56 | 86 | 177,487 |